

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

日立自然冷媒 (CO₂) ヒートポンプ給湯機 給湯専用

・オートストップ機能付

システム型式 **BHP-ZA46GU**

貯湯ユニット型式 BHP-TAZA462

ヒートポンプユニット型式 BHP-HA602

システム型式 **BHP-ZA37GU**

貯湯ユニット型式 BHP-TAZA372

ヒートポンプユニット型式 BHP-HA452

・標準

システム型式 **BHP-Z46GU**

貯湯ユニット型式 BHP-TAZ462

ヒートポンプユニット型式 BHP-HA602

システム型式 **BHP-Z37GU**

貯湯ユニット型式 BHP-TAZ372

ヒートポンプユニット型式 BHP-HA452

このたびは日立自然冷媒 (CO₂) ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・工事説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」 → P.5～9 をお読みいただき、正しくお使いください。

ご注意

時間帯別電灯契約専用です。

時間帯別電灯契約は、時間帯により、電気料金が異なります。

リモコンの時刻がずれていると電気料金が高くなることもあるため、リモコンの時刻が正しく設定されているか確認してください。

17A21545A



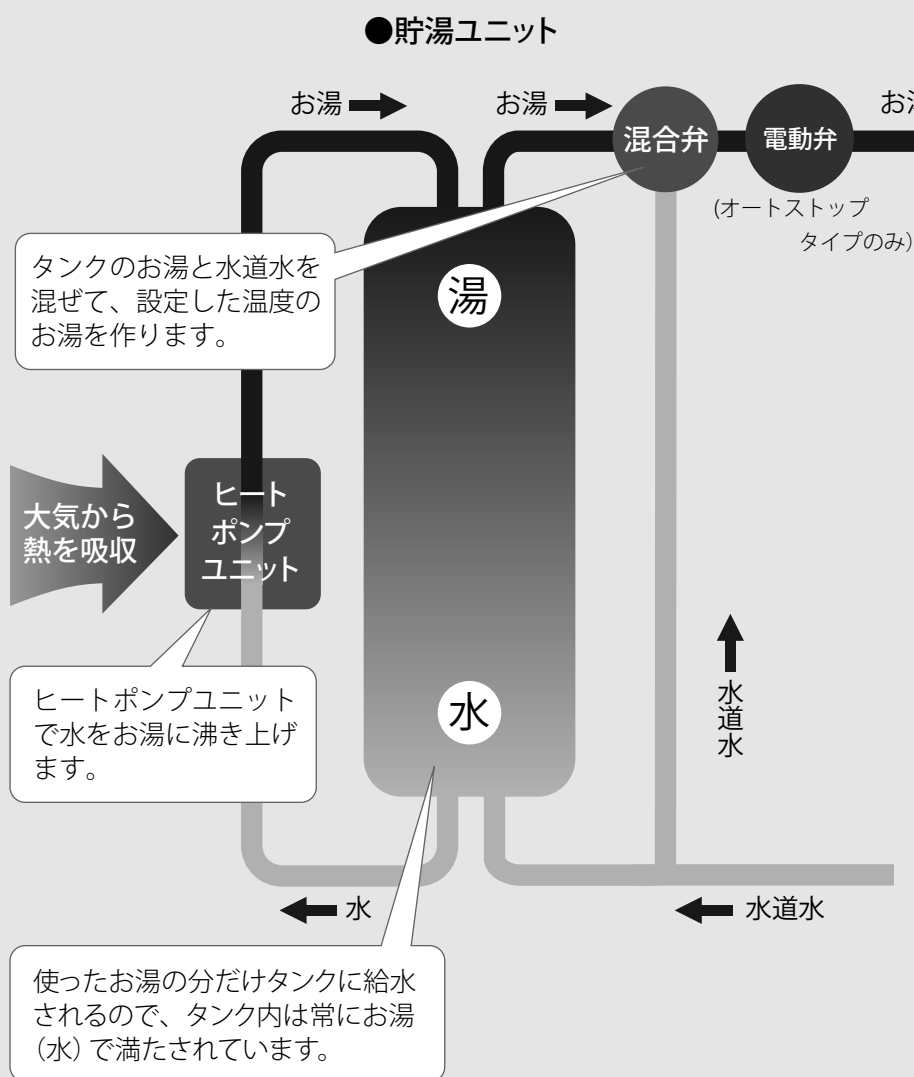
はじめに (特長とお知らせ)

エコキュートってどんなもの

エコキュートは、大気中の熱を集めてお湯を沸かすヒートポンプ式の給湯機です。大気中の熱を吸収して水に伝える役目をする冷媒に、自然冷媒 (CO₂) を使用しています。

■お湯を沸かすしくみ、お湯を貯めるしくみ

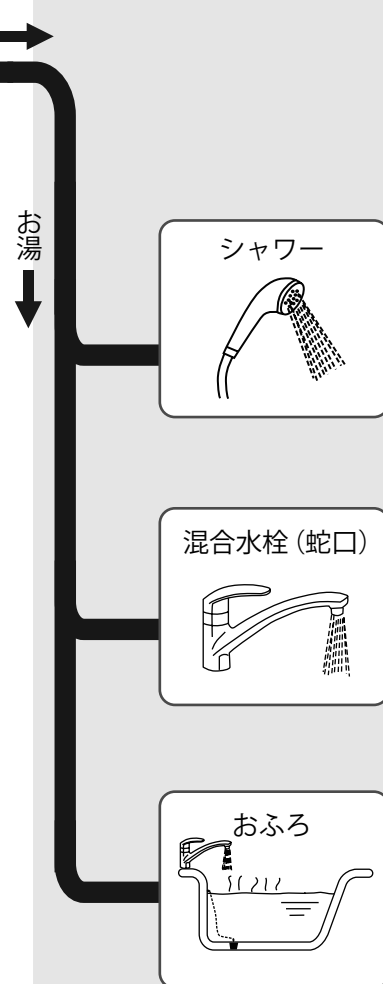
ヒートポンプユニットで水をお湯に沸き上げ、沸き上げたお湯を貯湯ユニットに貯え、そのお湯をシャワーや混合水栓 (蛇口) への給湯やおふろの湯はりに利用できるようにした給湯システムです。



■お湯が出るしくみ

シャワーや混合水栓 (蛇口) おふろ

タンクのお湯と水道からの水を給湯用混合弁で混ぜることで、リモコンで設定された温度のお湯をつくります。



■電力料金契約を選んで更に経済的

この給湯機は、時間帯別電灯型・季節別時間帯別電灯型のいずれかで契約されています。
ご使用の前に必ず契約内容をお買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

→ P.39

契約内容を確認の上、ご使用ください。
ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

もくじ

ご使用のまえに

●操作早見表	3
●エコキュートの上手な使い方ガイド	4
●安全上のご注意	5
●ご使用上の注意	10

各部の名前とはたらき

●リモコン	11
●残湯量のみかた	14
●ユニット本体（貯湯ユニット・ヒートポンプユニット）	15
●配管・配線	16

使いかた

●リモコンの基本操作（ボタン操作とメニュー操作）	17
●混合水栓（蛇口）について	19
●はじめてお使いのときに（必ず確認しましょう）	20
・一括設定	21
●お湯を使う（台所・洗面所でお湯を使う）	23
●湯量お知らせ（ふろの湯はり）の設定	24
●湯量お知らせ運転（ふろの湯はり）	25

こんなとき

●使えるお湯の量を知りたいとき（42℃換算）	27
●お湯が不足しそうなとき（タンク沸き増しをする）	29
●凍結防止について（外気温が低いとき）	30
●数日間お湯を使わないとき（使用を休止する）	31
●1か月以上お湯を使用しないとき（排水のしかた）	32
●貯湯ユニットに給水をするとき	33
●非常用水として使用するとき	35
●停電のとき・断水のとき	36

お手入れ

●お手入れと点検	37
----------	----

給湯機の設定

●電力契約設定	39
●沸き上げ設定 湯切れ防止設定 節約設定	40
●保温時間設定 保温機能設定 音声ガイド設定 ガイド・ブザー音量設定	42
●日付/時刻の設定 時刻設定 正時設定	43
●出荷時設定	45

お困りのとき・アフターサービスなど

●こんなときは故障ではありません	46
●お困りのときは	47
●リモコンに点検表示がでたら	48
●仕様・保証とアフターサービス・用語集	49

操作早見表

初めてお使いのときに

→ P.2

もくじ

取扱説明書に
何が書いてあるか
確認します

→ P.5

安全上のご注意

危害や損害を
未然に防ぐため
の重要事項です

→ P.17

リモコンの 基本操作

エコキュートを
操作するための
基本事項です

→ P.20

はじめてお使い のときに

正しくお使い
いただくための
確認事項です

→ P.21

一括設定

時刻と電力契約
の設定は必ず
おこないます

→ P.4

エコキュートの 上手な使い方

上手にお湯を
沸かして
使いましょう

エコキュートの
性能を発揮します

お湯を 使うときに

→ P.19

混合水栓について

混合水栓（蛇口）
を理解し安全
に使いましょう

→ P.23

お湯を使う

便利にお使い
いただくために
お読みください

→ P.24

湯量お知らせの 設定

便利にお使い
いただくために
お読みください

→ P.25

湯量お知らせの しかた

安全にお使い
いただくために
お読みください

便利にお湯が
使えます

日頃の 操作や点検

→ P.43

日付/時刻の設定

時刻が合ってい
ないと電気代が
割高になります

→ P.30

凍結防止について （外気温が低いとき）

配管の凍結など
トラブルを
未然に防ぐために

→ P.31

数日間お湯を 使わないとき

エコキュートを
休止させ、電気代
を節約します

→ P.15

各部の名称と はたらき

普段使わない
貯湯タンク周りの
名前も理解する

→ P.37

お手入れ と点検

週に1回、月に1回、
半年に1回の
手入れと点検

→ P.32

1か月以上お湯を 使用しないとき

1か月以上使用しな
い、汚れた水が
入ったときなど

清潔・長持ちで
安心です

季節の変 わり目など

→ P.21

一括設定

設定内容の確認、
変更をする

→ P.27

使えるお湯の量 を確認する

就寝前に
残りのお湯の量
を確認する

→ P.40

沸き上げ設定を 確認する

お湯の沸かしすぎ
防止、湯切れ防止
ができます

電気代の節約が
できます

故障かな と思ったら

→ P.46

こんなときは故障 ではありません

故障と勘違いする
ことが多い現象を
紹介します

→ P.47

お困りの ときは

間違った操作が
ないか事前に
確認しましょう

→ P.48

リモコンに点検 表示がでたら

リモコンに表示さ
れたエラーコード
を解説します

→ P.50

保証と アフターサービス

販売店や工事店
または、エンジニア
リングセンターへ

●メモ（機器の現象を正しく伝えましょう。）

エコキュートの上手な使い方ガイド

より省エネで経済的に
ご使用いただくための
ポイントを紹介します。



■上手にお湯を沸かして使う

エコキュートは、過去のお湯の使用量を自動的に学習してお湯を沸かしますが、リモコンの設定により余裕分を多めに沸かすことも少なめに沸かすこともできます。ご家庭の使用状況にあわせて、1日に必要な量だけお湯を沸かし、**上手に使い切る**ことが省エネのポイントです。

1

- リモコンでお湯を沸かすモードが「おまかせ 低温(工場出荷時設定)」になっているかご確認ください。 → P.40

2

- お湯が足りなくなりそうなときには、リモコンの「タンク沸き増し」を押して必要な湯量を確認してください。 → P.29 (自動でお湯の確保をしたいときは、「湯切れ防止」を設定することができます。 → P.41)
 - ・ 1時間の沸上げで、約40℃のお湯を約120L(冬季)～240L(夏季)つくることができます。
 - ・ ふろのお湯はりのめやす:約200L/回、シャワーのめやす:約10L/分です。
 - ・ 使用できるお湯の量はリモコンで確認できます。 → P.27

3

- 「おまかせ 低温」でお湯が足りなことが頻繁にあった場合は、「おまかせ 高温」「たっぷり」など、多くお湯を沸かすモードに設定変更してください。 → P.40
 - ・ 水温の変化によりタンク内のお湯の使用量が変わってきます(水温の低い冬季は、お湯の使用量が多くなります)。季節に合わせて、設定を変更することをおすすめします。

4

- 湯量お知らせ終了後など、タンクのお湯が少なくなると自動で「湯切れ防止」が入り、沸き上げを行いますが、お湯の量が充分で沸き上げを必要としない場合は、リモコンで「湯切れ防止設定」を「切」にしてください。 → P.41

5

- 旅行などで不在となる時には、「使用休止予約」で沸き上げの休止を設定してください。 → P.31
(1か月以上使用しない場合は運転を止め、機器や配管の水を抜いてください。) → P.32

■上手に付加機能を使う

エコキュートには多くの付加機能があります。上手に使うことが省エネ・省コストのポイントです。

1

- 深夜時間帯前3時間は沸き上げを停止させる設定ができます。 → P.41

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。

据付け後の確認



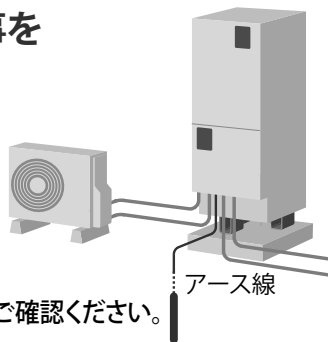
警告



アース工事を確認する

確認

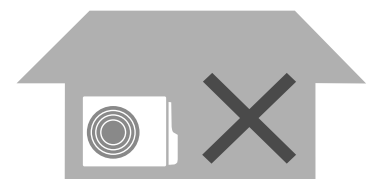
- 故障や漏電のときに感電することがあります。
販売店または工事店にご確認ください。



ヒートポンプユニットは屋内に設置しない

禁止

- 万一、冷媒(CO₂)が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故(脳機能障害等)に至ることがあります。



注意



必ず、水道水(水道法に定められた水質基準に適合した飲料水)を給水する

確認

- 井戸水、温泉水、純水、イオン交換水は使用しないでください。
タンクや配管の腐食、ヒートポンプユニットの熱交換器等がつまるなど故障の原因になります。
販売店または工事店にご確認ください。

⚠ 注意



据付工事後は、次のことを確認する

確認

■ 貯湯ユニットがアンカーボルトで固定されているかを確認する

- ・貯湯ユニット……………脚: 3 か所
転倒防止金具 (上部): 1 か所
(2 階以上に設置する場合に必要です)

- ・ヒートポンプユニット……………脚: 4 か所

- 固定されていないと地震などにより貯湯ユニット、ヒートポンプユニットが倒れてけがをするおそれがあります。

固定されていない場合は、販売店または工事店にご依頼ください。

■ 防水処理・排水処理がされていることを確認する

- 処理されていないと、水漏れが起きたときに、階下や隣家に大きな損害をおよぼすことがあります。

販売店または工事店にご確認ください。

■ 太陽熱温水器のお湯が給水管に接続されていないか確認する

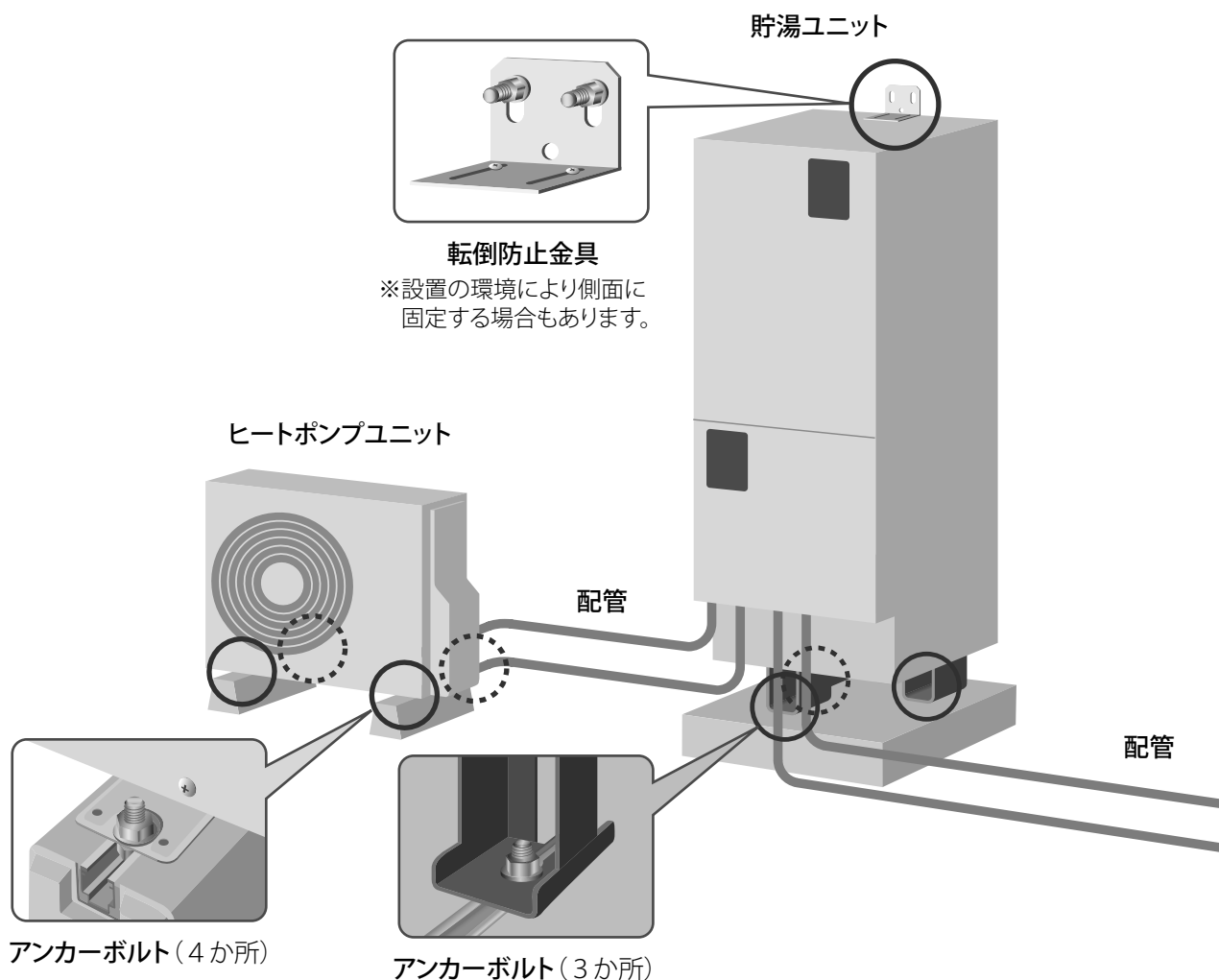
- 接続されていると故障や誤動作の原因になります。

販売店または工事店にご確認ください。

■ 凍結防止対策の確認をする

→ P.30

- 凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



防水処理

排水処理

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

警告



漏電遮断器の動作を確認する

動作確認

→ P.37

- 月に1度、動作確認をしてください。
- 故障のまま使用すると、感電することがあります。
- 確認後は操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミ等が入り、漏電や感電をすることがあります。



逃し弁の点検をする → P.38

点検

- 年に2～3度、点検をしてください。
- 異常のまま使い続けると、タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。
- 確認後は、操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミ等が入り、漏電や感電をすることがあります。



異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にし、販売店または工事店に連絡する

- 異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

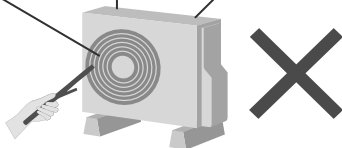


ヒートポンプユニットのアルミ部分に触ったり、空気吸入口・吹出口に手や棒を入れない

禁止

空気吹出口 空気吸入口(背面) アルミ部分(背面)

- けがをすることがあります。



熱湯や熱くなる部分に触れない(やけどの原因になります)

やけど注意

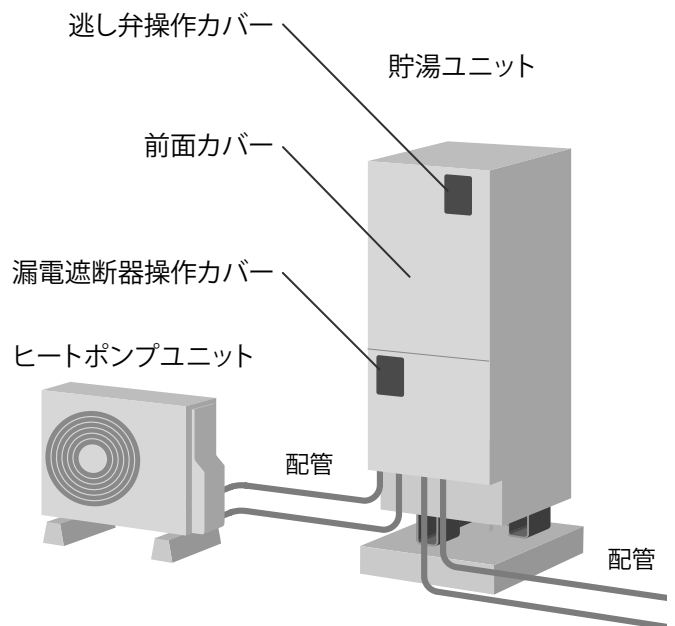
- 給湯時の混合水栓(蛇口)は熱くなっているので、ハンドル以外には手を触れない
- 逃し弁点検時には、配管に手を触れない
 - 配管が高温になっています。
- タンクの排水時は、お湯に手を触れない
 - 高温のお湯が出る場合があります。
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の配管には手を触れない



子供の入浴には十分注意する 子供を浴室内で遊ばせない

やけど注意

- 小さい子供だけの入浴は、させないでください。(思わぬ事故の原因となる場合があります。)



安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

警告

！ お湯の温度を確認してから使用する(やけどの原因になります)

やけど注意

■シャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる

- シャワー給湯には、サーモスタット付混合水栓をご使用ください。

→ P.19



■浴そうの温度を指先などで確かめる

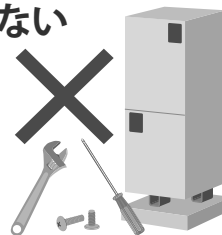
- 給湯温度の変更は、他の人がお湯を使っていないかを確認してから行う



分解・修理・改造を行わない 前面カバーを開けない

分解禁止

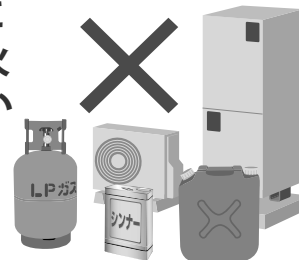
- 分解や修理、改造を行うと発火や異常動作の原因になります。
- 開けると、感電することがあります。



機器の近くに ガス類や引火物を置かない

禁止

- 発火や火災になることがあります。



注意

機器に乗ったり、配管に力を加えたりしない

禁止

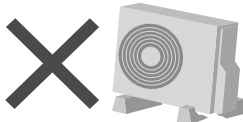
- 事故・やけどの原因になります。



ヒートポンプユニットの据付台が 傷んだ状態で使用しない

禁止

- 傷んだ状態で放置すると、ヒートポンプユニットの落下、転倒につながり、けがの原因になることがあります。



お風呂のお湯は口にふくまない

- 不衛生ですから、お風呂のお湯は口にふくまないでください。

積雪時には除雪をする

- ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの周囲に積雪すると、性能低下や故障の原因になることがあります。



安全にお使いいただくために (必ずお守りください)

⚠ 注意

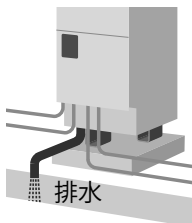


電源確認

1 か月以上使用しないときは、漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にして、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をする

- 排水しないと水質が変化することがあります。
- 排水しないと貯湯ユニットや配管が凍結し、故障の原因になることがあります。
- 漏電遮断器操作後は、操作力バーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミ等が入り、漏電や感電することがあります。

→ P.32



冬季、漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にする場合は貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水を排水する

→ P.32

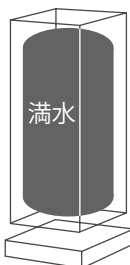
- 貯湯ユニット、ヒートポンプユニットが満水のまま、電源スイッチを「OFF」にすると、配管が凍結し、水漏れや故障の原因になります。



満水確認

貯湯ユニットを満水にしてから電源を入れる

- 貯湯ユニットに水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。販売店または工事店に確認・ご依頼ください。



やけど注意

貯湯ユニットのお湯を非常用水としてご使用の場合は、湯温を確かめて熱に強い容器を使用する

→ P.35

- ホースから熱いお湯が出ます。やけどに注意してください。ガラス容器などは、熱により割れる場合があります。



禁止

ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

- 通風が妨げられると、性能低下や故障の原因になります。



断水時は、シャワーや混合水栓 (蛇口) を閉める

→ P.36

- 開けっぱなしにしておくと、再度送水されたときに混合水栓 (蛇口) から湯 (水) が出ます。

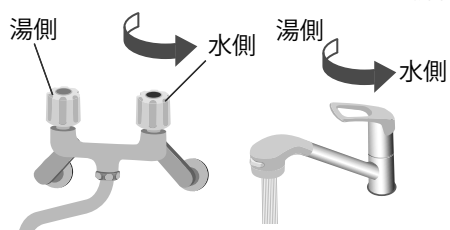


湯水混合水栓は水から開く

やけど注意

ツーハンドルの場合 シングルレバーの場合

- まず水側を開いてから湯側を徐々に開いて適温にしてください。



湯側だけ開くと、高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があります、非常に危険です。

※使用後は湯側から閉める



禁止

朝一番のお湯は、飲用したり調理に使用しない

- 朝一番のお湯 (配管内にたまった水) は、飲用や調理に使用せず、雑用水としてお使いください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに、直ちに販売店または工事店へ点検を依頼してください。



禁止

そのまま飲用しない



- 長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させてからにしてください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水 (配管にたまっている水) は雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに、直ちに販売店または工事店へ点検を依頼してください。

ご使用上の注意

■時間帯別電灯契約専用です

- この機器の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために、電力会社と時間帯別電灯契約をしてください。
- 契約方法は電力会社または、販売店または工事店までご相談ください。

→ P.39

■深夜時間帯のご使用について

- 給湯機は、深夜時間帯にお湯を沸かすのが基本です。この時間帯にお湯を多く使うと、昼間に沸き増しを行い電気料金が高くなる場合があります。
- 深夜時間帯は、地域や契約内容によって異なります。



→ P.39

■リモコンの時刻を確認する

- 月に1度は台所リモコンの時刻を確認、修正してください。

→ P.43



- 時刻がずれていると、お湯を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

■停電時のご注意

→ P.36

- 停電時は、給湯・湯量お知らせ機能とも使用できません。

■湯はりをするときのお願い

→ P.25

- 浴そうに湯はりをするときは、排水栓を必ず閉めてください。

■給湯温度がばらつく場合があります

- 水道の圧力が変動したり、給湯流量を変更した場合、給湯温度がばらつく場合があります。

■外気温が低いときは・・・

→ P.30

- 給湯配管等が凍結することがありますので、適切な凍結防止対策を行ってください。

■お湯を上手に使う

- 1日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯の使いすぎに注意してください。
- 流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
 - ・シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう）
 - ・洗いものをするときも止めながら

■湯量お知らせ中の給湯

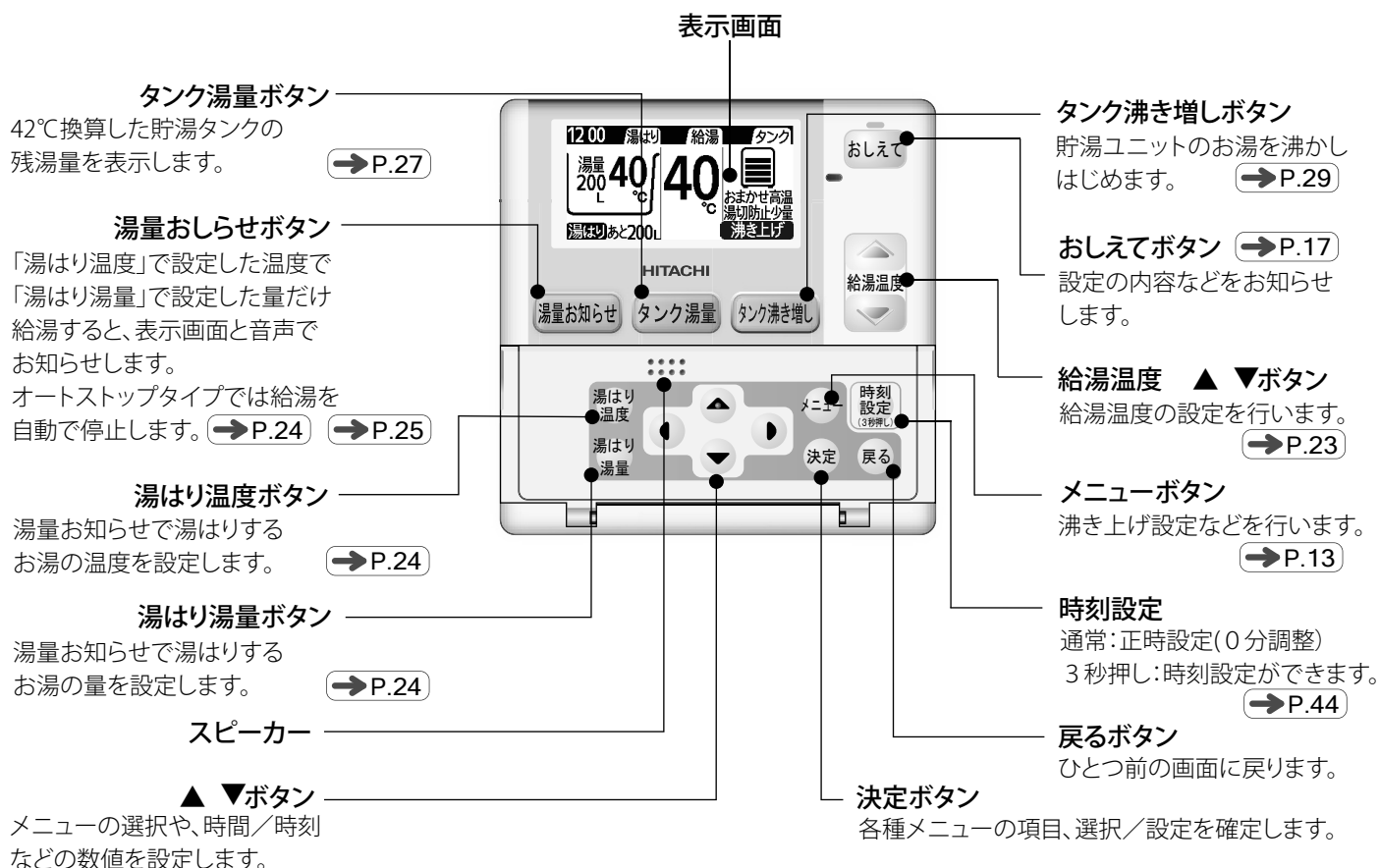
- 湯量お知らせ中は給湯温度が「湯はり温度」に変わります。他の人がお湯を使っていないかを確認してから運転を行ってください。

■湯量お知らせ中の別の給湯

- 湯量お知らせ中に、浴そう以外の混合水栓（蛇口）でお湯を使用すると、浴そうに湯はりできる湯量は、浴そう以外で使った分だけ少なくなります。

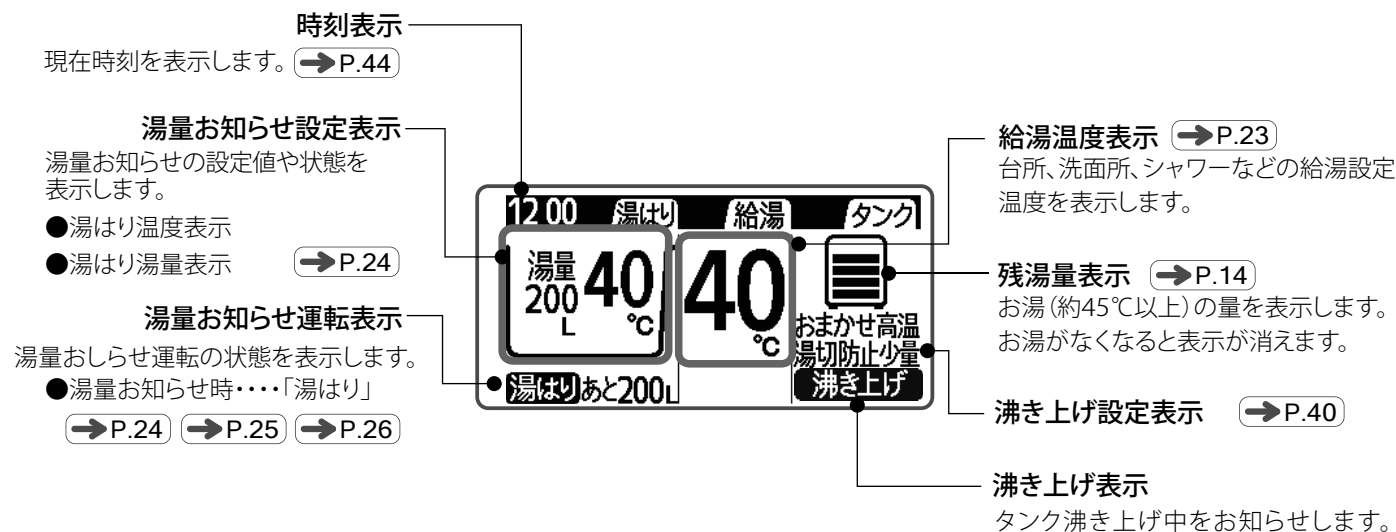
各部の名前とはたらき (リモコン)

台所リモコン



表示画面

●表示は標準画面例です。状況により、表示内容は異なります。



■画面が見にくいとき(コントラスト設定)

- リモコンの画面は、見やすいようにコントラストを調整してありますが、リモコンを設置する場所の温度によって薄くなったり、濃くなったりします。薄すぎたり濃すぎたりする場合や、縦線が入っている場合などは、コントラスト設定してください。
- 台所リモコンの画面を見ながら調整してください。

1

戻る

を画面が変わるまで押しつづける。

2

▲
▼

を押し、調整する

●調整がおわったら、決定 を押し、決定する

●標準画面に戻ります。

●コントラストは16段階で設定できます。

▲ を押すと暗くなります。

▼ を押すと明るくなります。

お知らせ

- 台所リモコンは、約30秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。ただし、再度ボタンを押すとバックライトが再点灯します。
- バックライト消灯時でも操作は可能です。

メニュー内容

リモコンのメニュー内容

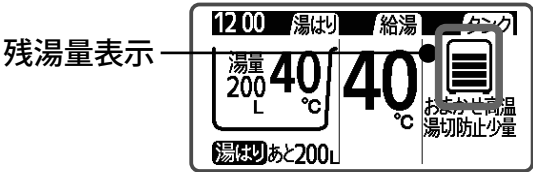
メニュー項目	設定項目	概要	頁
湯量 お知らせ設定	①湯はり温度設定	湯はり温度を設定します。	→ P.24
	②湯はり湯量設定	湯はり湯量を 40L ～ 540L の間で 10L 刻みで設定します。	
タンク設定	①沸き上げ設定	沸き上げるお湯の量を設定します。	→ P.40
	②湯切れ防止 / 節約設定	タンクのお湯が少なくなってきたら自動で沸き増しをする・しないの設定、「湯切れ防止」を動作させない時間帯を設定します。	→ P.41
	③使用休止予約設定	タンクの沸き上げを休止する日にちを設定します。	→ P.31
	④残湯量確認 / 使用実績	今日、あとどれくらいお湯が使えるかの目安を表示します。 1 週間のお湯の使用実績の変化を表示します。	→ P.28
リモコン設定	①音声ガイド設定	音声ガイドのモードを選択します。	→ P.42
	②ガイド・ブザー音量設定	音声ガイド、ブザーの音量を設定します。	→ P.42
	③日付 / 時刻設定	現在日付 / 時刻を合わせます。	→ P.43
その他設定	①電力契約設定	契約されている電力の種類を設定します。	→ P.39
	②一括設定	電力契約設定、沸き上げ設定、湯切れ防止 / 節約設定、音声ガイド設定、音声ガイド・ブザー音量設定、日付 / 時刻設定を一度に設定します。	→ P.21
	③出荷時設定	各設定を製品出荷時の状態に戻します。	→ P.45
	④HPエア抜き	ヒートポンプユニットのエア抜き運転を行います。	→ P.34

残湯量のみかた

残湯量のみかた

■残湯量表示は…

- 給湯やおふろに使えるおよその湯量を表示します。
- 残湯量表示は、お湯を使わなくても自然放熱などで表示が少なくなる場合があります。



■湯切れ注意

- 残湯量が少なくなると「湯切れ確認」が、約 10 秒間表示されます。
その後の使用量に応じて「タンク沸き増し」を行ってください。→ P.29



残湯量が少なくなると約 10 秒間表示

■使えるお湯の量

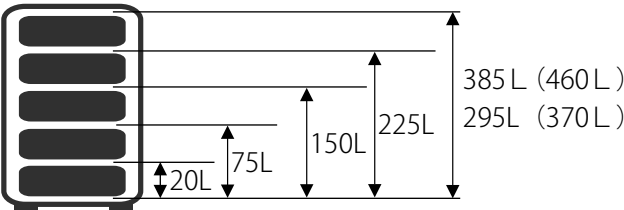
- タンクには常温（水）から最高 90℃のお湯があり、そのお湯と水を混合させるので、実際にご使用になれるお湯の量と残湯量表示には差があります。平均 42℃に換算した場合の湯量も確認できます。→ P.27

■残湯量のめやす

○＝使用できます。 △＝湯切れする場合があります。 ×＝使用できません。

表示	残湯量のめやす	使用のめやす		「湯切れ防止 少量」を設定していると
		給湯、シャワー	湯はり	
	満タン	○	○	残湯表示が点灯していてもタンク内のお湯の温度状況により「沸き上げ」を開始する場合があります。
	225L 以上	○	○	
	150L 以上	○	○	
	75L 以上	○	△	
	75L 未満	○	×	
	20L 未満	△	×	
	0L	×	×	

●残湯量表示とタンク内の湯量イメージ



●型式とタンク容量

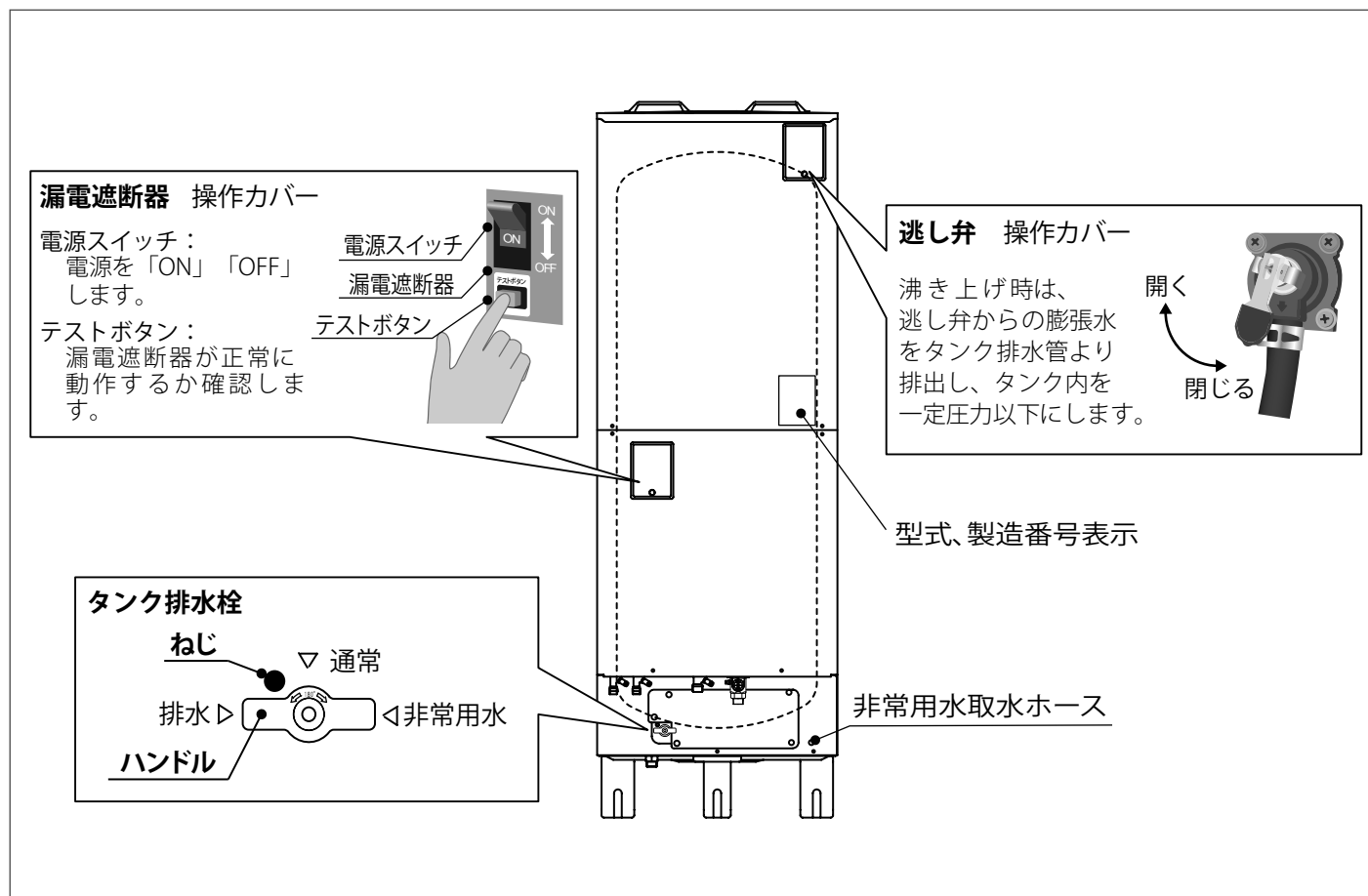
型式	タンク容量
BHP-ZA46GU、BHP-Z46GU	460L
BHP-ZA37GU、BHP-Z37GU	370L

お知らせ

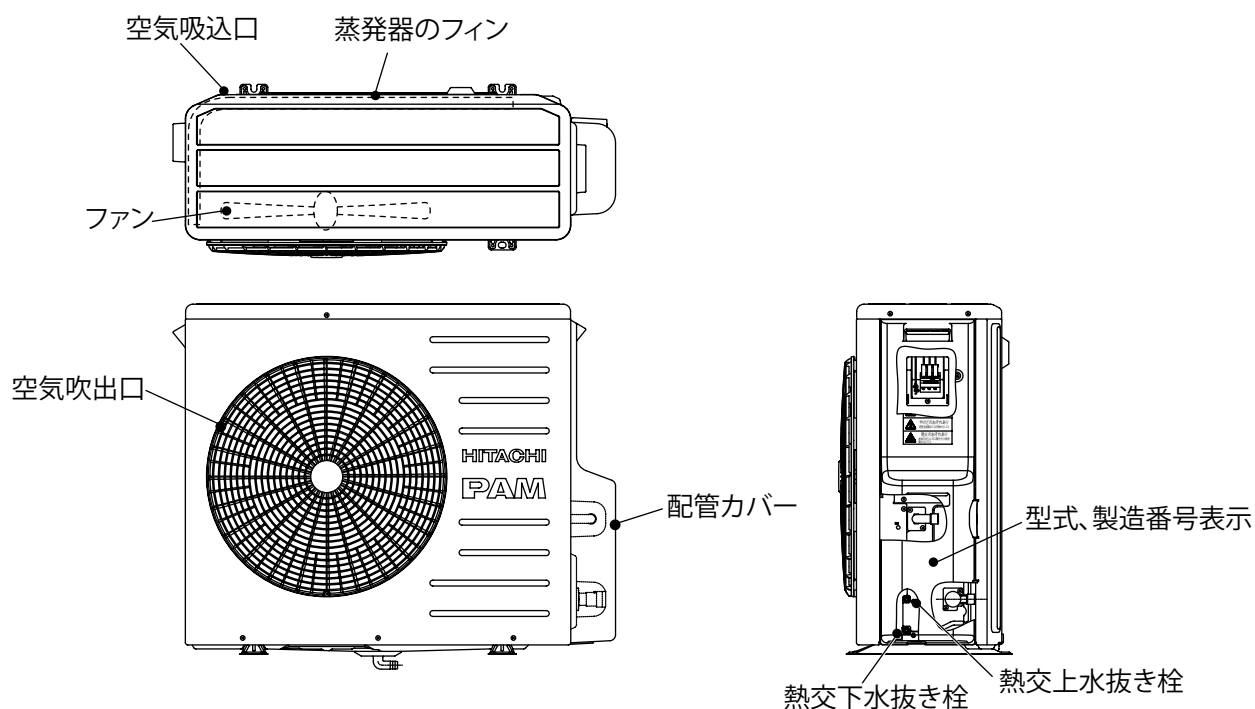
- 残湯量表示が全て点灯している場合でも、「湯切れ防止」を設定していると「沸き上げ」を開始する場合があります。
- 残湯量表示は約 45℃以上のお湯の量を表示しています。残湯量表示が出ていても給湯温度の設定が高い（たとえば 48℃）場合は、その設定より低い温度（たとえば 46℃）のお湯が出ることがあります。
- 7 時～ 23 時で残湯量表示が 1 目盛点灯から点滅が変わるとき、「タンクのお湯が少なくなりました」の音声でお知らせします。
- 沸き上げ設定が「おまかせ 低温」「おまかせ 高温」の場合、お客様のご使用状態によっては、沸き上げ温度が低くなり、満タンに沸き上げない場合がありますが、異常ではありません。なお、頻繁に湯切れする場合は、沸き上げ設定を変更してください。→ P.40

ユニット本体

貯湯ユニット

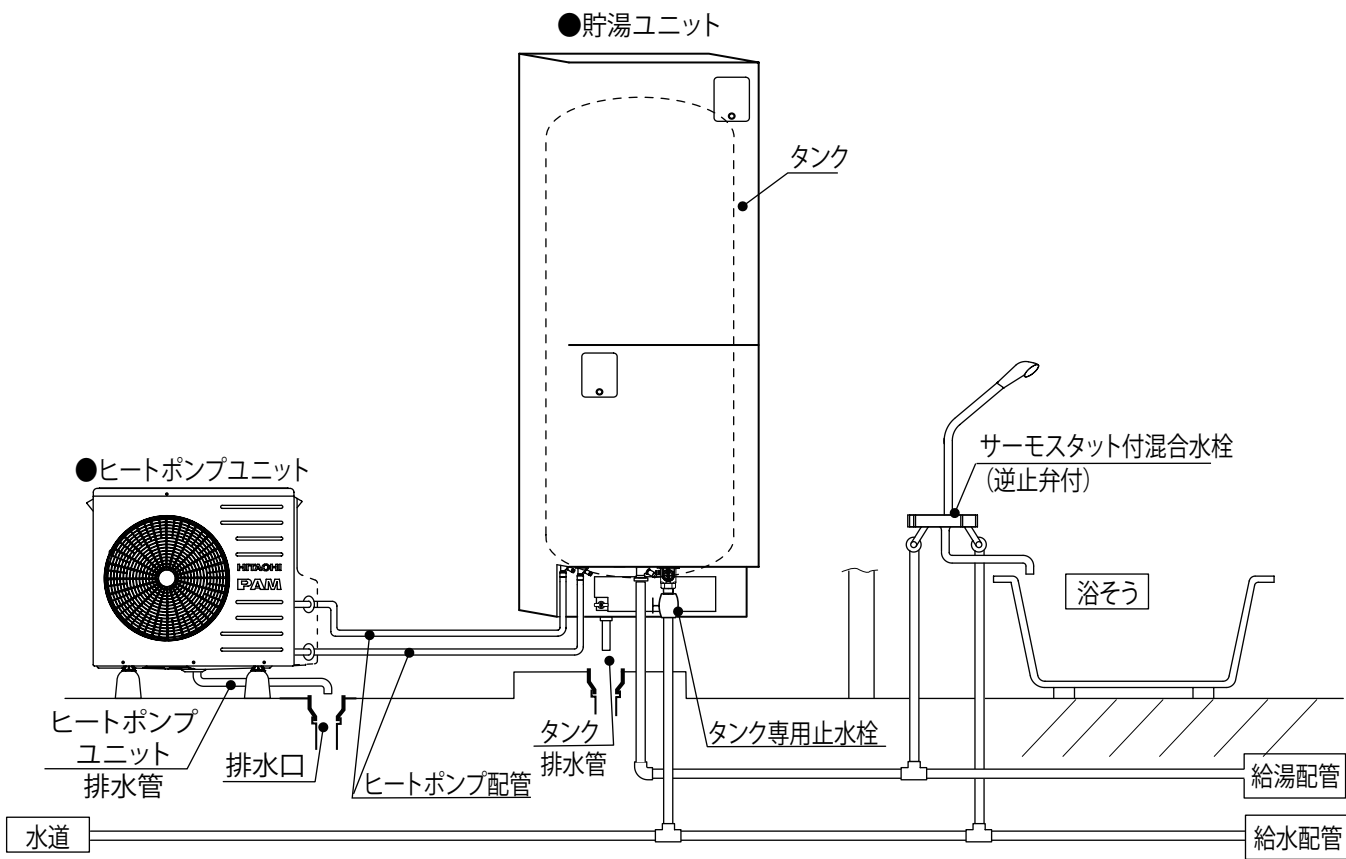


ヒートポンプユニット

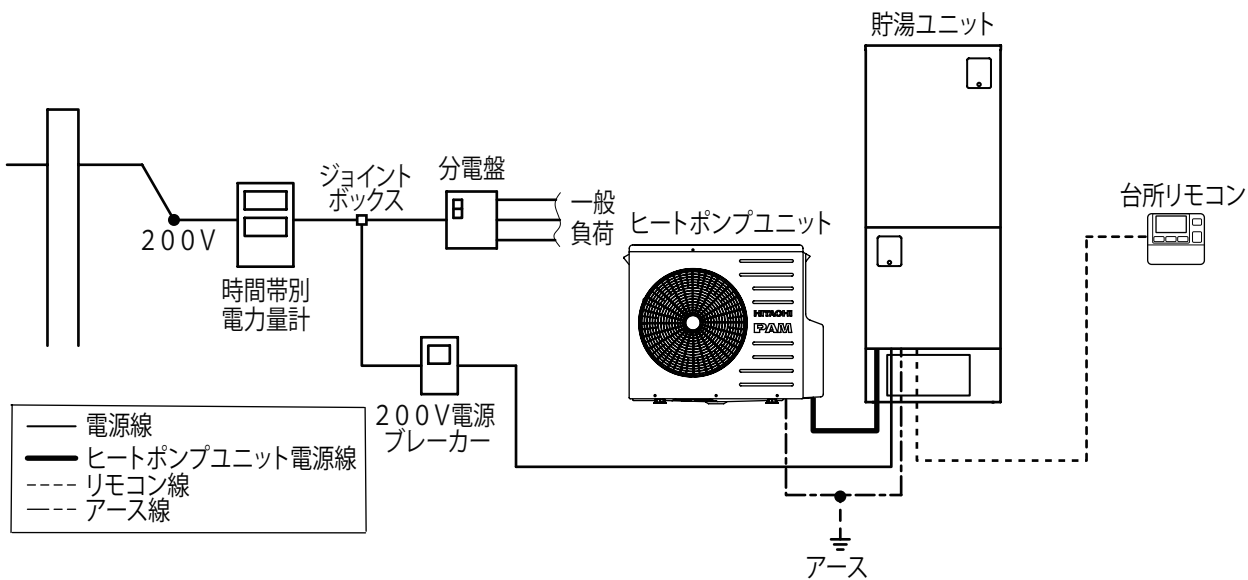


配管／配線

システム全体の配管例



配線例 (時間帯別電灯契約専用)



リモコンの基本操作 (ボタン操作とメニュー操作)

- この取扱説明書で、ボタンを指し示す場合はそのボタンのイラストで説明します。

■「おしえて」ボタン

- 「標準画面」でボタン消灯中に「おしえて」ボタンを押すと、現在の設定内容と給湯機の動作状態を音声でお知らせします。

- アナウンス内容

設定内容：給湯温度、沸き上げ設定、湯切れ防止設定を「おしえて」ボタンを押すたびに毎回アナウンスします。

- リモコン操作をしている時に、「おしえて」ボタンのランプが点灯していれば、操作方法などをアナウンスします。
操作方法など使い方がわからない時にお役立てください。



■ボタン操作

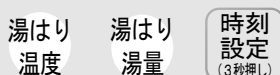
- リモコンのボタンは、機能を実行するためのボタンと、設定を行うためのボタン、リモコン操作に必要なボタンがあります。

- 機能を実行するボタン



1 回押すと実行され、実行中にもう一度押すと中止します。
例えば、「タンク湯量」を押すと、「残湯量確認」画面が表示します。
「タンク湯量」もう一度押すと標準画面を表示します。

- 設定を行うためのボタン

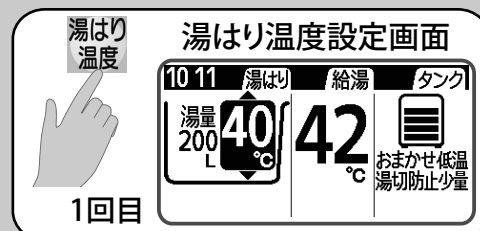
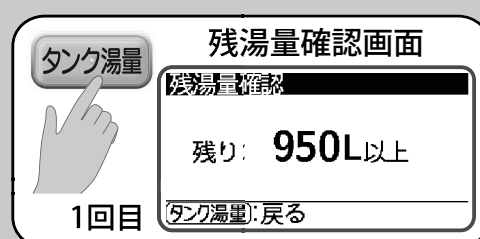


1 回押すと設定画面に切り替わり、設定操作が行えます。「決定」を押すと終了します。

- 操作に必要なボタン



設定温度を上下させたり、項目を選択する場合に使用します。



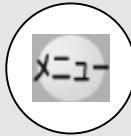
■メニュー操作

■機能の実行や設定を行うには、ボタン操作のほかにメニュー一覧から選択する方法があります。
「ガイド・ブザー音量設定」を例に説明します。



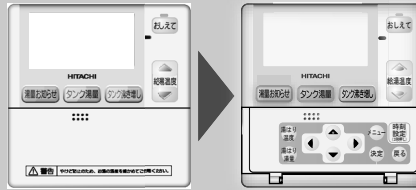
扉を開く

リモコンの扉を開きます。
扉の左右にある切りかきに
指を添え、手前に引きながら
下方に開きます。



メニュー

メニューを押し、メニュー
画面を表示させます。



メニュー

湯はり 湯はり温度設定
タンク 湯はり湯量設定
リモコン
その他
◀▶:選択 (決定):決定

これ以降、メニュー画面を
表示させる操作は



扉を開く



メニュー

マークであらわします。

1

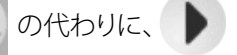
扉内の ▲ ▼ で「リモコン」
を選択し、決定 を押す。

●反転表示が右側に移動します。

メニュー

湯はり 音声ガイド設定
タンク ガイドブザー音量設定
リモコン 日付/時刻設定
その他
◀▶:選択 (決定):決定

決定



の代わりに、
を押しても、反転表示が
右側に移動します。

2

▲ ▼ で、「ガイド・ブザー音量
設定」を選択し、決定 を押す。

●ガイド・ブザー音量の設定画面になります。

メニュー

湯はり 音声ガイド設定
タンク ガイドブザー音量設定
リモコン 日付/時刻設定
その他
◀▶:選択 (決定):決定

戻る



または、ボタ
を押すと、反転表示を左側
に戻すことができます。

3

▲ ▼ で、「音量」を合わせ、
決定 を押す。

●「設定完了」画面になります。

ガイド・ブザー音量設定



◀▶:設定 (決定):決定

戻る

を押すと、メニュー
一覧の画面に戻ることが
できます。

4

●3秒後に自動で「標準画面」に戻ります。

ガイド・ブザー音量設定

設定完了

戻る

を押すと、メニュー
一覧の画面に戻ることが
できます。

またメニューを押すと、1

2 3 の変更をキャン

セルして「標準画面」に戻り

ます。

メニュー

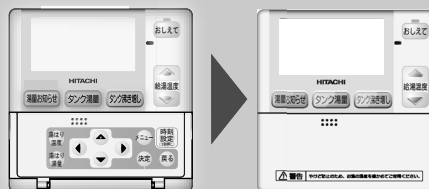
を押すと、3秒待たず
に「標準画面」に戻ります。



「標準画面」

5

扉を閉めます。



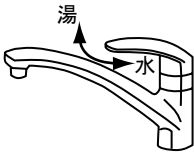
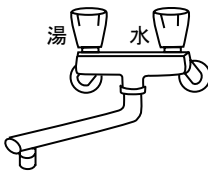
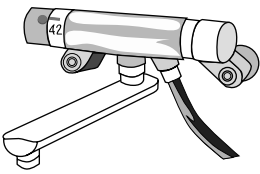
ご注意

扉を開閉するとき、リモコ
ン本体と扉の隙間に指を挟
まないようにご注意ください。
特に小さいお子様には
充分ご注意ください。

混合水栓（蛇口）について

■混合水栓（蛇口）の種類

- 給湯機を安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける混合水栓（蛇口）も大切な役割があります。
ご家庭で一般的にお使いになる混合水栓には下表のような種類があります。特徴をよく理解し安全に使用してください。

	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外観			
概要	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して流量の調節を行います。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や流量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少なくなります。

- シングルレバーの混合水栓は、出湯、停止、温度や流量の調節が簡単にできるので、台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。
- サーモスタット付混合水栓は、お風呂やシャンプー機能付の洗面台で使用されています。サーモスタット付混合水栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。シャワーはお湯を直接、からだや頭にかけますので、誤って熱い湯が出ると大変危険です。サーモスタット付混合水栓のご使用をおすすめします。

お知らせ

サーモスタット付混合水栓を使用する場合は、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より高くしてください。低いと混合水栓で設定した湯温にならないことがあります。

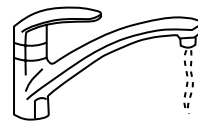
■混合水栓（蛇口）の上手な使い方

レバー、ハンドルの開閉は水側からゆっくりと

- 他の場所から給湯温度を変更している場合もあります。混合水栓を開く時は、水側から開き湯温を確認しながらお湯を出します。
- 給湯中に設定温度を変えたり、給湯量（混合水栓の開き具合）を変えたときや、一旦給湯を止めたあと短時間の内に再度使用する場合、設定温度になるまでにしばらく時間がかかります。

適度な流量で使用する

- 流量が少ないと
流量が極端に少ないと、温度が不安定になったり水が出たりします。



- 流量が多いと
一度に大量にお湯を出したり、シャワーと台所などを同時に使用すると、温度が低くなることがあります。その場合は混合水栓を少し閉めてください。



⚠ 注意

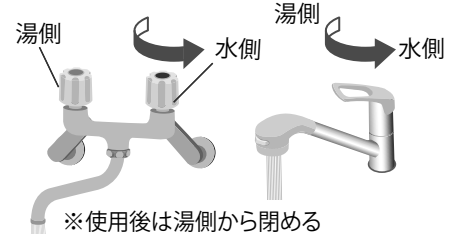


湯水混合水栓は水から開く

やけど注意

ツーハンドルの場合 シングルレバーの場合

- まず水側を開いてから湯側を徐々に開いて適温にしてください。
湯側だけ開くと、高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があります、非常に危険です。



※使用後は湯側から閉める

⚠ 警告



給湯時は混合水栓のハンドル以外に手をふれない

やけど注意

- 高温の湯の使用時および使用直後は混合水栓があつくなっています。
やけどにご注意ください。



はじめてお使いのときに(必ず確認しましょう)

1 使用できる状態かを確認します。

- 1 貯湯ユニットのタンク専用止水栓は「開」になっていますか? → P.16
- 2 200V電源ブレーカーの電源スイッチは「ON」になっていますか? → P.16
- 3 貯湯ユニットの漏電遮断器のスイッチは「ON」になっていますか? → P.15

2 台所リモコンは標準画面を表示していますか?

- 何も表示していない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご確認ください。
- 表示画面が見にくい場合は、コントラスト設定をしてください。 → P.12

3 時刻は合っていますか?

- 合っていない場合は「一括設定」で時刻の他、必要項目のすべてを確認・設定してください。 → P.21
- 「一括設定」ができたなら 4 に進みます。

4 残湯量の表示を確認します。

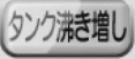
- 残湯量表示が  より多い場合は、お湯を使うことができます。※残湯量の見かた。 → P.14

- 残湯量表示が  のような場合は、次の確認をしてください。

A 「沸き増し」が表示されている場合

-  が表示されるまでお待ちください。(約60分~120分)

B 「沸き増し」が表示されていない場合

-  ボタンを押す。

 が表示されたらお湯を使うことができます。

※残湯量の見かた。 → P.14

お願い

- タンク専用止水栓が「閉」になっている場合や、電源が「OFF」になっている場合は、お買い上げの販売店または工事店に「電源を「ON」にすれば使用できるか。」「タンク専用止水栓を「開」にすれば使用できるか。」をお問い合わせいただき、使用できることを確認してください。
- 使用できない場合は、お買い上げの販売店または工事店に作業をご依頼ください。※作業は有償になることがあります。

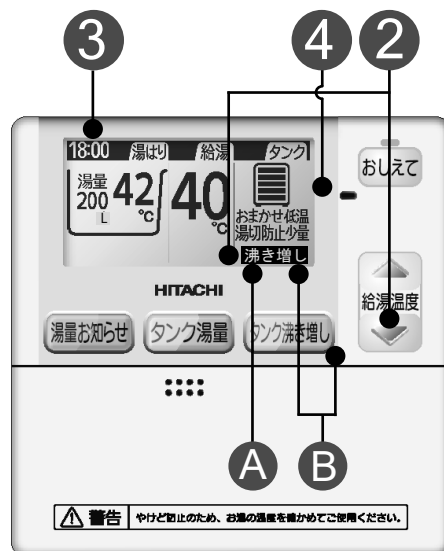
表示画面について

各リモコンは、約30秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。再度ボタンを押すことで、バックライトが再点灯します。

ご注意 時刻表示について

時刻があっていないと、電気料金が割高になる場合があります。確認をお願いします。

台所リモコン



音声ガイドについて

音声ガイドは、「しんせつ」「標準」「切」の3つのモードがあり、モードにより音声ガイドの内容が異なります。本説明書は「しんせつ」モードで説明しています。 → P.42

一括設定 (使い始めに必要な設定を一括で行います)

■現在時刻・日付、電力契約の種類など、お使いはじめに必要な設定を一括で設定します。

●このページでは、「一括設定」で行う各設定の流れを説明します。各設定の詳細説明は、それぞれの説明ページをご覧ください。

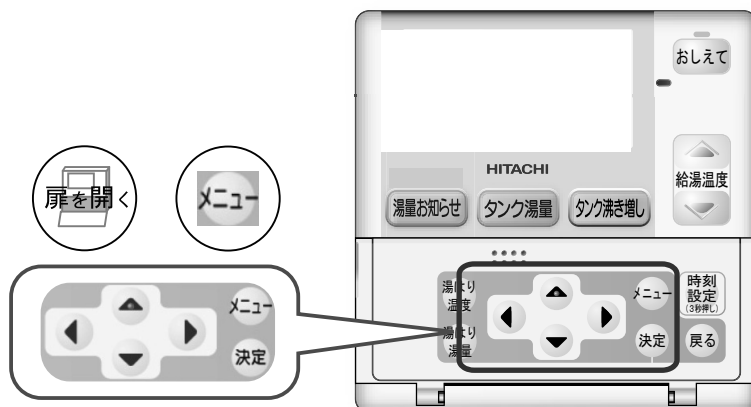
●設定項目

- ①電力契約設定 ②沸き上げ設定
- ③湯切れ防止設定 ④節約設定
- ⑤音声ガイド ⑥ガイド・ブザー音量
- ⑦日付設定 ⑧時刻設定

●その他の設定について

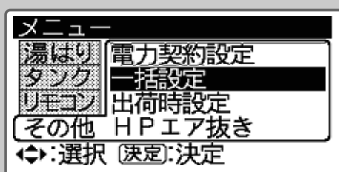
給湯温度や湯はりの設定は、給湯機をお使いになりながら、適切な設定を行ってください。

台所リモコン



で、「その他」「一括設定」を選択し、**決定** を押す。

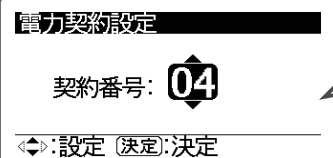
●「電力契約設定」の入力画面になります。



→ P.39

で、「契約番号」をあわせ、**決定** を押す。

●「沸き上げ設定」の入力画面になります。



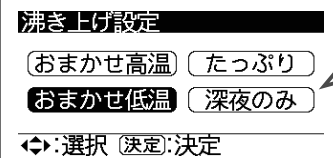
●電力会社との契約内容にあった番号を入力してください。正しく設定されていない場合、電力料金が割高になる場合があります。設定する番号は当社固有の番号です。

2

で、「沸き上げモード」をあわせ、**決定** を押す。

●「湯切れ防止」の入力画面になります。

→ P.40



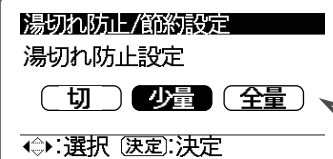
●タンク沸き上げモードを設定します。
●お使いはじめは「おまかせ低温」に設定し、しばらくの間で使用ください。1週間のご使用状況を学習しながら、適切なお湯の量を自動で沸き上げます。湯切れが発生したり、お湯が残ってしまった場合には設定を変更してください。

3

で、「沸き上げ量」をあわせ、**決定** を押す。

●「節約設定」の入力画面になります。

→ P.41



●お湯が少なくなった場合に昼間沸き上げるお湯の量を設定します。
●使用状況により「沸き上げ設定」とあわせて設定内容を見直してください。

4



で、「時間」をあわせ、**決定**を押す。

- 「音声ガイド設定」の入力画面になります。

→ P.41

湯切れ防止/節約設定
節約設定
深夜時間帯までの **0** 時間
は沸き上げしない
◀▶:設定 (決定):決定

- 深夜時間帯に入る前にお湯をあまり使わない場合は、節約のため「沸き上げしない時間」を設定します。
- 深夜時間帯直前もお湯を使う場合は、0時間に設定してください。

5



で、「音声ガイド」をあわせ、**決定**を押す。

- 「ガイド・ブザー音量設定」の入力画面になります。

→ P.42

音声ガイド設定
しんせつ 標準 切
◀▶:選択 (決定):決定

- 「しんせつ」に設定すると、給湯機の動作状態やリモコンの操作方法をアナウンスします。
- お使いはじめは「しんせつ」に設定していただくと便利です。

6



で、「ガイド・ブザー音量」をあわせ、**決定**を押す。

- 「日付設定」の入力画面になります。

→ P.42

ガイド・ブザー音量設定
▽
◀▶:設定 (決定):決定

- 選択した音量にあわせて「音量〇〇です」とアナウンスしますので、聞き取りやすい音量に設定してください。

7



で、「年」「月」「日」を選択



で、それぞれをあわせ、**決定**を押す。

- 「時刻設定」の入力画面になります。

→ P.43

日付/時刻設定
日付設定
2009年 **09**月 **01**日
◀▶:選択 ◀▶:設定 (決定):決定

- 今日の年月日を合わせてください。

8



で、「時」「分」を選択



で、それぞれをあわせ、**決定**を押す。

- 「設定完了」画面が表示されます。
- 自動で「標準画面」に戻ります。

→ P.44

日付/時刻設定
時刻設定
10:00
◀▶:選択 ◀▶:設定 (決定):決定

一括設定

設定完了

お知らせ

- 給湯温度やふろ温度の設定は、給湯機をお使いになりながら、適切な設定を行ってください。

お湯を使う 給湯温度の確認・設定

■台所・洗面所でお湯を使う

1 「給湯温度」表示を確認する。

- 適温であれば、**3**に進みます。
- 温度を変更する場合は、**2**へ進みます。

2 を押し、適切な温度に設定する。

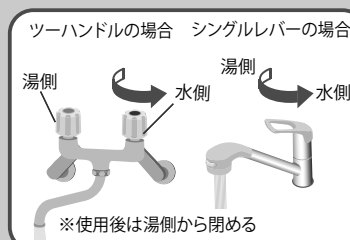
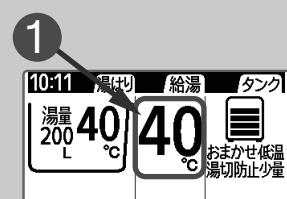
- 温度表示は、下に示したように設定できます。

低温 **35℃**・・・**48℃** **50℃** **55℃** **60℃**
(水温) (1℃刻み)

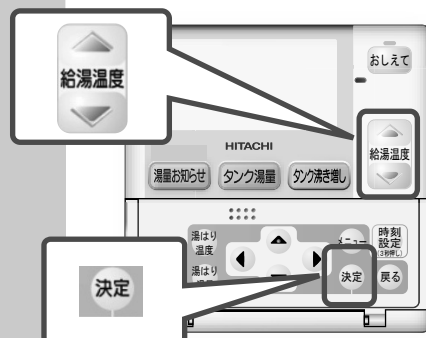
(さらに製品の設定を変更した場合のみ) **高温**

3 混合水栓(蛇口)を開く。

- 水側を開いてから、湯側を徐々に開いて適温にします。お湯側から開くと急に熱いお湯がでたり、飛び散ることがあります。
- シャワー使用時には、指先などで湯温を確かめてからご使用ください。



台所リモコン



■50℃・55℃・60℃に設定した場合

- やけどに注意していただくため、下のような音声でお知らせします。

給湯温度を設定しました。
音声 熱いお湯が出ます。
ご注意ください。

- 60℃に設定した場合は、下のような表示でもお知らせします。



■「高温」に設定した場合

- 工場出荷の設定では「高温」はご利用いただけません。
- 「高温」ではタンク内湯温に近い(60℃以上の)高温水が給湯されるため、ご使用には特に注意が必要です。

給湯温度を設定しました。
音声 熱いお湯が出ます。
ご注意ください。



⚠ 注意

給湯温度を「高温」に設定するときは、やけど防止のため、特に下記の点にご注意ください

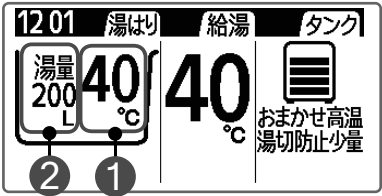
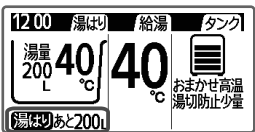
- 混合水栓(蛇口)は、やけど防止のため必ずサーモスタット付混合水栓(現地準備品)を使用してください。
- シャワー使用時や入浴時は、高温の湯が出るおそれがあるため、必ず湯温を指先などで確かめてください。
- 小さいお子様や高齢者の方が使用されるご家庭では、危険ですので「高温」設定にはしないでください。
- 「高温」設定でお湯を使用したあとは、リモコンで給湯温度を下げたあとも配管内に残った高温のお湯が出るおそれがありますので、やけどにご注意ください。(例えば「高温」設定で浴そうにさし湯をしたあとにシャワーを使用する場合など、給湯温度を下げて配管内に残った高温のお湯が出るおそれがあります。)

お知らせ

- お湯の使い始めは配管内に残った水が出るため、混合水栓(蛇口)を開いてからお湯が出るまでに時間がかかる場合があります。
- 給湯温度を変更するとき、35℃～48℃の範囲では「▲」「▼」ボタンを押し続けると設定温度が連続して変わります。50℃、55℃、60℃、高温、および低温に変更する場合は「▲」「▼」ボタンをくりかえして押してください。
- 「高温」に設定(60℃以上の高温水を使用)する場合は製品の設定変更が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。

湯量お知らせ(ふろの湯はり)の設定

- 「湯量お知らせ運転」を行う前に「湯はり温度」「湯はり湯量」の設定を行います。
- 「湯はり温度」「湯はり湯量」は、メニュー画面から変更を行うことができます。

手 順			頁
準備	「湯量お知らせ設定」を確認します。	① 湯はり温度の確認 ② 湯はり湯量の確認	 → P.24 (下記)
	浴そうを確認します。	●浴そうの排水栓をします	
ふろ湯はり	湯量お知らせ開始	湯量お知らせ を押す。 ●混合水栓(蛇口)を開くと給湯を開始します。 ●リモコン表示部が通常画面に戻り、湯はり湯量の残りを表示します。	 → P.25 → P.26
	湯量お知らせ中	●リモコンに「湯はり」が点灯 ●リモコン表示部に、湯はり湯量の残りをカウントダウンします。 ※湯はり中は熱い湯が出ることもあるため入浴しないでください	
	湯量お知らせ完了	●湯はり完了をリモコンの表示と音声でお知らせします。 ●オートストップタイプでは、給湯を自動(オート)で停止(ストップ)します。 ※ふろの湯かげんを確認してから入浴してください	

■「湯はり温度」を設定する

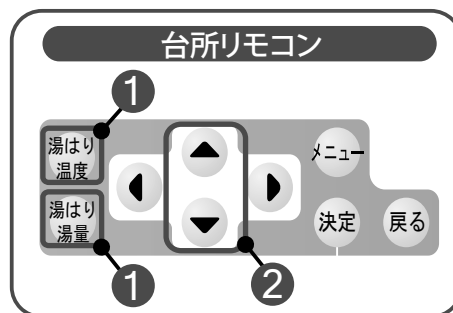
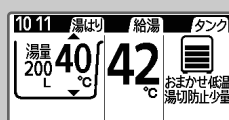


- 湯はり温度 を押す。
●「ふろ温度」が反転表示します。



- で設定する。

- 数秒後、「湯はり温度」反転表示が解除されます。
※変更しない場合は、そのまま「決定」ボタンを押してください。

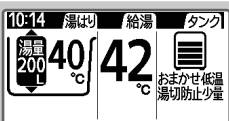


- 設定できる温度範囲は、次の通りです。
 - ・低温(水温)
 - ・35°C・・・48°C(1°C刻み)

■「湯はり湯量」を設定する



- 湯はり湯量 を押す。
●「湯量」が反転表示します。



- で設定する。

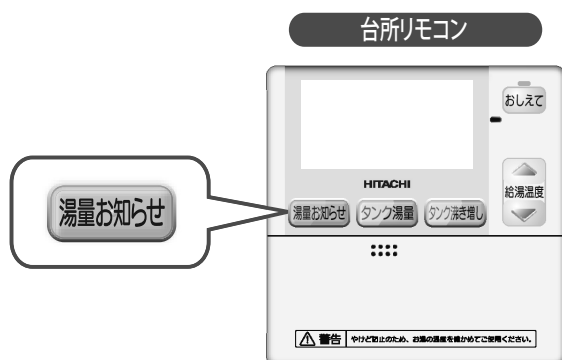
- 数秒後、「湯はり湯量」反転表示が解除されます。
※変更しない場合は、そのまま「決定」ボタンを押してください。



- 設定できる湯量範囲は、次の通りです。
40L・・・540L(10L刻み)

湯量お知らせ運転 (ふろの湯はり)

- 「湯量お知らせ」ボタンを押して混合水栓（蛇口）を開くと、あらかじめ設定した「湯はり温度」で給湯を開始します。設定した「湯はり湯量」を給湯すると音声と文字で湯はり終了をお知らせします。



おふろの準備

浴そうの排水栓を閉じる。

湯はりの準備

湯量お知らせ を押す。

湯はり開始

混合水栓(蛇口)を開く。

- 混合水栓（蛇口）を開くと給湯を開始します。
- リモコン表示部が通常画面に戻り設定給湯量の残りを表示します。

湯はり終了

- 各混合水栓（蛇口）で使用したお湯の合計が設定湯量になると、文字と音声でお知らせします。

混合水栓(蛇口)を閉じる。

- すべての混合水栓（蛇口）を閉めてください。サーモスタット式の混合水栓（蛇口）の場合は、設定温度を元に戻してください。

湯量お知らせ を押す。

- 標準画面に戻ります。

湯量お知らせ

湯はり開始
蛇口を開いてください

音声

給湯温度を… 蛇口
を開いてください。



湯量お知らせ

湯はり終了
蛇口を閉じて湯量お知らせ
ボタンを押してください

音声

湯はりを終了しまし
た。蛇口を閉じて湯
量お知らせボタンを
押してください。

湯量お知らせ

湯量お知らせ終了
給湯温度を変更します

音声

給湯温度を…
に変更します。

ご注意 湯はり温度について

- サーモスタット式の混合水栓（蛇口）をご使用の場合は、混合水栓（蛇口）の設定温度を湯はり温度より高めに設定してください。湯はり温度より低いと水が混じるため給湯量が湯はり湯量より多くなります。

ご注意 湯量お知らせ終了について

- BHP-ZA46GU, BHP-ZA37GU（オートストップタイプ）は、設定湯量を給湯するとすべての混合水栓（蛇口）での給湯を停止します。すべての混合水栓（蛇口）を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押すと給湯温度で給湯できるようになります。混合水栓（蛇口）の構造によっては、自動停止のあと混合水栓（蛇口）を閉めるまでの間に少量の水が出る場合があります。
- BHP-Z46GU, BHP-Z37GU（標準タイプ）では、給湯は自動で停止しません。混合水栓（蛇口）を閉めて「湯量お知らせ」ボタンを押してください。

注意

やけどにご注意ください

お知らせ 湯量お知らせ中の給湯温度について

- 湯量お知らせ運転を開始すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が「湯量お知らせ」で設定した湯はり温度に変わります。湯はり温度を高め設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて運転を開始してください。



給湯温度が変わります

- 湯量お知らせ運転中、給湯温度の変更はできません。

ご注意 湯量お知らせ終了後の給湯温度について

- 湯量お知らせ運転を終了すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が給湯温度に変わります。給湯温度を高く（例えば 60°C）設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて湯量お知らせ運転を終了してください。



給湯温度が変わります

途中でとめたいとき

混合水栓(蛇口)を閉じる。

湯量お知らせ を押す。

- すべての混合水栓（蛇口）を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押します。ランプが消灯し湯量お知らせ運転が停止します。

湯量お知らせ

湯量お知らせ中止
給湯温度を変更します

音声

湯量お知らせを中止
します。給湯温度を
...に変更します。

タンクの残湯量が少ないとき

- BHP-Z46GU, BHP-Z37GU（標準タイプ）では、タンク残り湯が少なくなると文字と音声でお知らせします。

混合水栓(蛇口)を閉じる。

湯量お知らせ を押す。

- すべての混合水栓（蛇口）を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押します。ランプが消灯し湯量お知らせ運転が停止します。

湯量お知らせ

湯はり中止
タンクの湯がなくなりました
蛇口を閉じて湯量お知らせ
ボタンを押してください

音声

タンクのお湯が...
蛇口を閉じて湯量お
知らせボタンを...

お知らせ

- BHP-ZA46GU, BHP-ZA37GU（オートストップタイプ）ではタンクのお湯をすべて使いきるまで運転を続けます。「湯量お知らせ」の途中でタンクのお湯がなくなると自動で給湯を停止して「湯量お知らせ中止」をお知らせします。

- 混合水栓（蛇口）を閉じ、**湯量お知らせ** を押すまでの間、以下の音声を出します。

音声

蛇口を閉じて湯量お
知らせボタンを押してく
ださい。

オートストップタイプ：1 分ごと
標準タイプ：20 秒ごと

ご注意 BHP-ZA46GU, BHP-ZA37GU をご使用の場合

- BHP-ZA46GU, BHP-ZA37GU（オートストップタイプ）では、湯量お知らせ運転を終了させるために「湯量お知らせ」ボタンを押すと、しばらくの間、右図を表示して、すべての混合水栓（蛇口）が閉まっていることを確認していることをお知らせします。通常画面に戻るまですべての混合水栓（蛇口）は閉じておいてください。

湯量お知らせ

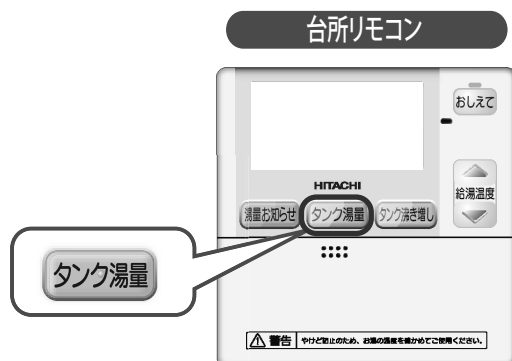
湯量お知らせ終了を
確認しています

お知らせ

- 「湯量お知らせ」ボタンを押さずに混合水栓を開けても湯はりはできますが、湯はり終了のお知らせはありません。またこの場合、給湯設定温度で湯はりするため、給湯温度を高温に設定している場合はご注意ください。
- BHP-ZA46GU, BHP-ZA37GU では湯量お知らせ運転中、他の機器でお湯が使用できないことがあります。

使えるお湯の量を知りたいとき (42℃換算)

- タンク内の残りの湯温をもとに、42℃のお湯としてあと何L使用できるかを確認することができます。

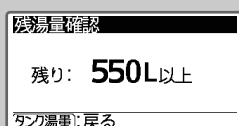


■今日使えるお湯の量を確認する。(ダイレクトボタンから操作)

使えるお湯の量を表示する

タンク湯量 を押す。

- 画面に「残湯量確認」が表示されます。



- 使えるお湯の量が少ない場合はこれから使うお湯の量を考慮して「沸き増し」を行ってください。

→ P.29

お知らせ

- 夏季など、1000L以上の残湯量がある場合でも、表示の最大値は950Lになります。

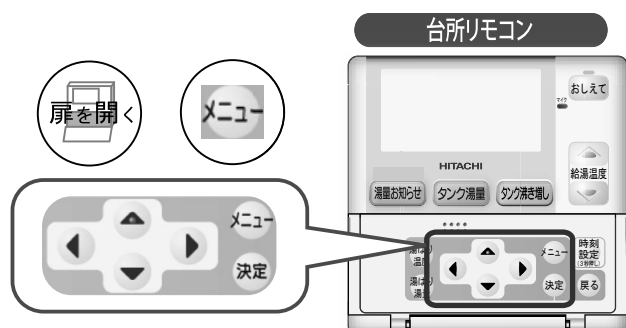
画面の表示を消す

タンク湯量 を押す。

- 「標準画面」に戻ります。



- タンク内の残りの湯温をもとに、42℃のお湯としてあと何L使用できるかを確認することができます。
- 過去1週間のタンクのお湯の使用実績を見ることができます。



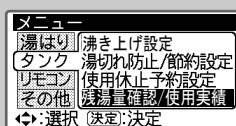
- 今日使えるお湯の量を確認する。
- タンクのお湯の使用実績を確認する。



で、「タンク」「残湯量確認/使用実績」を選択し、

決定 を押す。

- 「残湯量確認」の画面になります。

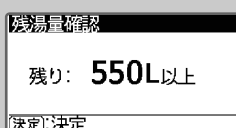


1 残湯量を確認します。

- 残湯量は、42℃換算した湯量を〔リットル〕で表示します。

確認後、**決定** を押す。

- 「使用湯量確認」の画面になります。



- 使えるお湯の量が少ない場合はこれから使うお湯の量を考慮して「沸き増し」を行ってください。

→ P.29

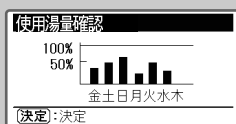
お知らせ

- 夏季など、1000L以上の残湯量がある場合でも、表示の最大値は950Lになります。

2 過去1週間のタンクのお湯の使用実績をグラフで確認します。

確認後、**決定** を押す。

- 「標準画面」に戻ります。

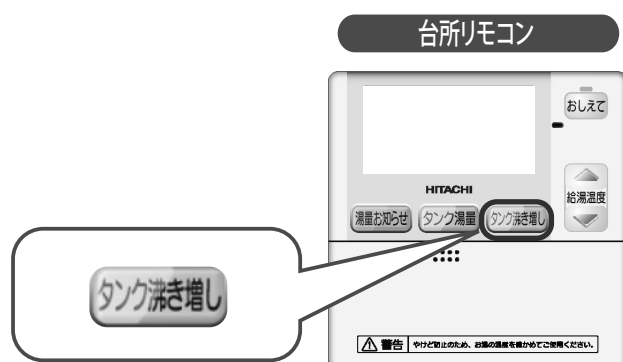


- 過去1週間のタンクのお湯の使用実績は、お湯の使用量の目安を表示しています。
- 「深夜のみ」で沸き上げ、タンクのお湯をすべて使用したときの熱量を100%としています。
- お湯の使用量を熱量に換算して表示していますので、実際に使用したお湯の量とは異なります。

→ P.40

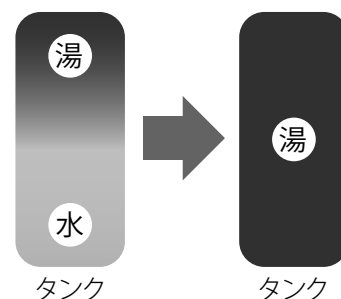
お湯が不足しそうなとき (タンク沸き増しをする)

- 急な来客などでたくさんのお湯が必要になったとき、「タンク沸き増し」を設定すると1回だけ「沸き増し(沸き上げ)」運転をします。



■タンク沸き増しとは

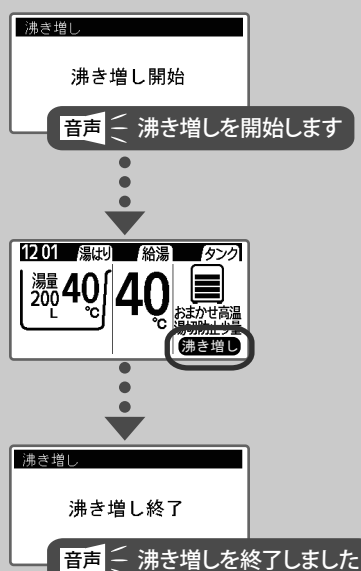
- 「タンク沸き増し」を行うと、たくさんのお湯を使用しても不足しないように、タンク内全体をお湯にします。お湯が不足する前に沸き増しを行います。
- 1時間で沸き上げできるお湯(約40℃)のめやす
「約120L(冬季)～240L(夏季)」



沸き増しをする

タンク沸き増し を押す。

- 「タンク沸き増し」を開始します。
- 画面に「沸き増し」が表示されます。



お知らせ

- タンク内に充分のお湯がある時は、「沸き増し」を設定しても、「沸き増し」を開始しないことがあります。

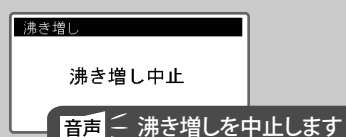
ご注意

- 昼間時間帯の「沸き増し」は電気料金が割高になります。
- 頻繁にお湯が不足するような場合は、「沸き上げ設定」の設定内容を確認し、深夜時間帯の沸き上げ量が少ない場合は「沸き上げ設定」を変更してください。

途中でやめたいとき

タンク沸き増し を押す。

- 「タンク沸き増し」を中止します。



凍結防止について (外気温が低いとき)

- 各配管に保温工事がしてあっても、本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、お買い上げの販売店、工事店と相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

混合水栓を少し開いておく

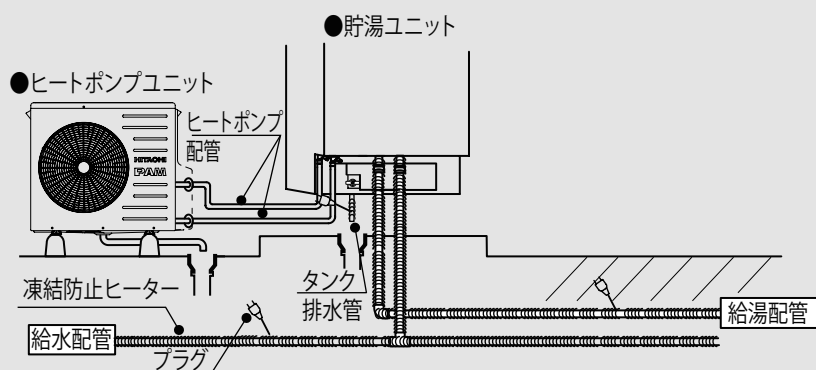
- 1 給湯温度を「低温」に設定します。
- 2 混合水栓の温度調節は、水とお湯の両方が出るように、水とお湯の中間位置にしてください。
- 3 流量を調節します。
各混合水栓を開け、わずかに水が出るように調節します。

お願い

- 配管が凍結した場合は、タンク専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

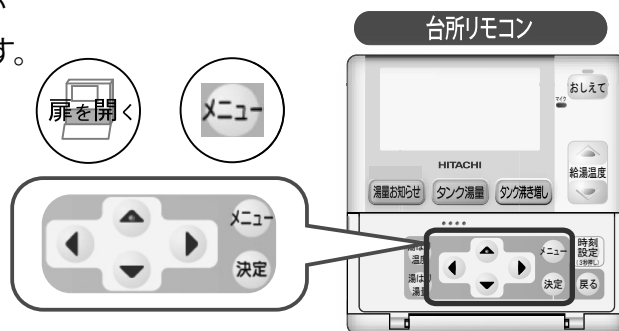
凍結防止ヒーターを使う

- 1 凍結防止ヒーターが、下図のように巻かれていることを確認します。
- 2 使用時は、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。
- 3 凍結しない季節になったらプラグをコンセントから抜いてください。



数日間お湯を使わないとき(使用を休止する)

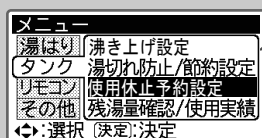
- 旅行へ出かけるなど、お湯を使わないことが事前にわかっている場合は、タンクの使用を休止することができます。
- 休止日数は、1日～28日間設定できます。
- 休止日は、最大6か月先の月まで設定できます。



※10月20日から使用を休止し、10月30日からお湯の使用を再開する場合の例です。
この設定をすると、29日の深夜時間帯から沸き上げを再開し、30日朝（深夜時間帯終了後）にはお湯が使用できます。

1 で「タンク」/「使用休止予約設定」を選択し、
決定 を押す。

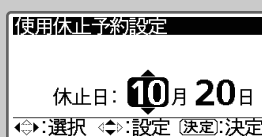
- 「使用休止予約設定」の入力画面になります。



- 既に「使用休止予約」が設定済みの場合は、
休止予約済みの場合に進みます。

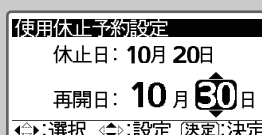
2 で「休止日」を合わせ、
決定 を押す。

- 「再開日」の入力画面になります。



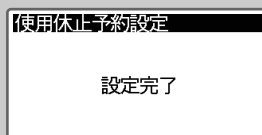
3 で「使用再開日」を合わせ、
決定 を押す。

- 確認画面になります。



4 確認後、**決定** を押す。

- 「標準画面」に戻ります。
- 再開日の朝（深夜時間帯終了時）からお湯が使えます。



- 設定すると「使用休止予約」が画面に表示されます。
- 使用休止期間に入ると、「使用休止中」が画面に表示されます。

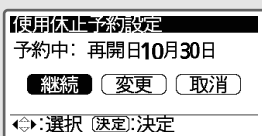


- 使用休止期間が終了すると「使用休止中」の表示が消えます。

休止予約済みの場合

予約内容が表示され、継続／変更／取消の選択画面が表示されます。

- 「継続」：休止予約を継続
- 「変更」：予約の変更
2 から操作してください。
- 「取消」：休止予約の取り消し



ご注意

- 冬季に気温が低くなるときは使用休止予約の設定はしないでください。貯湯ユニットや配管が凍結し、故障の原因になります。

1か月以上お湯を使用しないとき(排水のしかた)

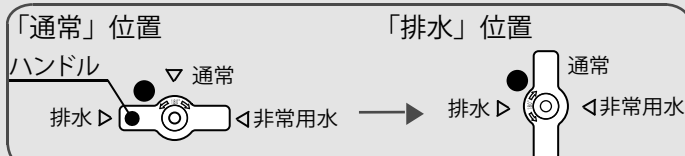
- 1か月以上使用しないときは、運転を止め貯湯ユニットおよび配管の水を抜いてください。
- ふたたび使用するときは、「貯湯ユニットに給水するとき」(→ P.33) にしたがって貯湯ユニットへ給水してください。

1 混合水栓を開く

- めるい水が出てくるまで開いておきます。貯湯ユニット排水時に熱湯が排水されることを防止します。

2 貯湯ユニットのお湯を排水する

- 1 漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にする。
- 2 タンク専用止水栓を閉じる
● 貯湯ユニットへの給水を止めます。
- 3 逃し弁のレバーを上げる。
- 4 脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、ねじを外し、脚カバーまたは配管カバーを外してください。
- 5 タンク排水栓のハンドルを左へ 90°回し、「排水」位置にします。



貯湯ユニットの水を排水します。排水口から水があふれないようタンク排水栓の開き具合を調節してください。
※排水は約 30 分～1 時間かかります。

- 6 貯湯ユニットの「給水水抜き栓」、「給湯水抜き栓」、「ヒートポンプ A 側水抜き栓」、「ヒートポンプ B 側水抜き栓」を開きます。

3 ヒートポンプユニットの水抜きをする

- 1 ねじを取りはずし、カバーをツメ(6か所)が抜けるまで下方へスライドさせてははずします。
- 2 ヒートポンプユニットの「熱交下水抜き栓」、「熱交上水抜き栓」、「ストレーナ」を開きます。

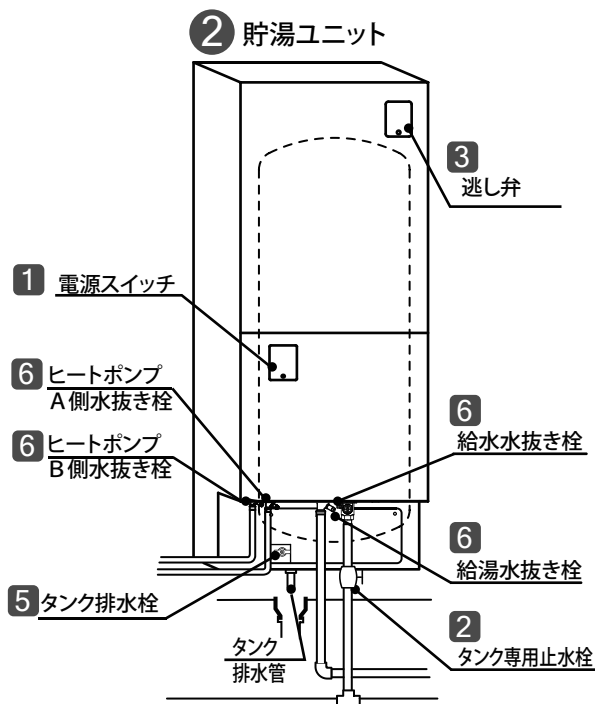
4 排水栓、水抜き栓を閉じる

- 排水栓、ストレーナおよび全ての水抜き栓から水が出なくなったら、

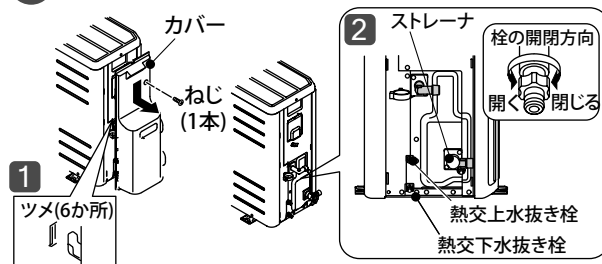
- 1 貯湯ユニットの「タンク排水栓」を「通常」位置にし、各「水抜き栓」を閉じます。

※脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、元通り取り付けてください。

- 2 ヒートポンプユニットの各「水抜き栓」「ストレーナ」を閉じます。
- 3 ヒートポンプユニットの「カバー」を元通り取り付けてください。



3 ヒートポンプユニット



お願い

- 水抜き終了後、「排水栓」、「ストレーナ」、各「水抜き栓」が閉まっていることを確認してください。
- 凍結するおそれの高い地域の場合は、お買い上げの販売店、工事店に完全な水抜き作業を依頼してください。本ページの水抜き作業を行っても、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防止することはできません。
- 前日から準備できる場合、使用休止予約を行ってください。むだな沸き上げをおこないません。

→ P.31

警告



やけど注意

やけどのおそれあり。

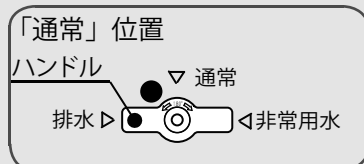
- 高温の湯を排水することがあります。

貯湯ユニットに給水をするとき

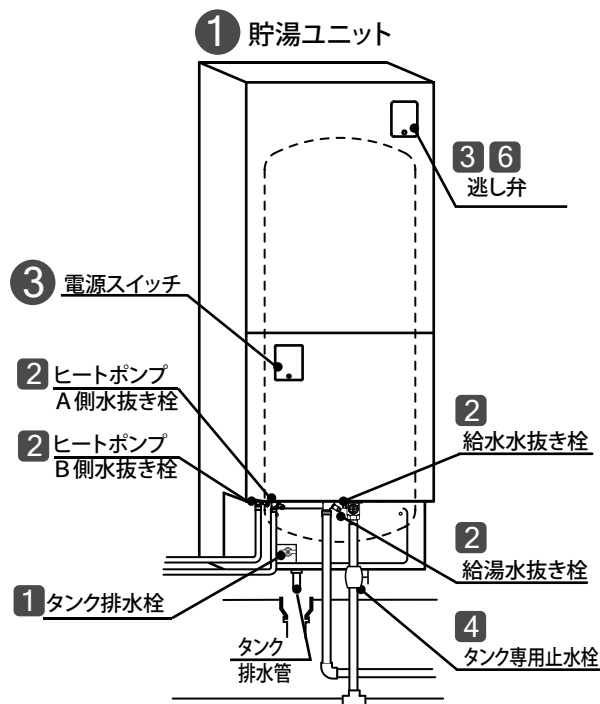
- ご使用前に貯湯ユニットを満水にしてヒートポンプユニットのエア抜きを行う必要があります
- 以下の手順に従ってください。
(お買い上げの販売店または工事店に作業を依頼する場合は有償になります。)

1 貯湯ユニットに給水する

- 1 タンク排水栓を「通常」の位置にする。



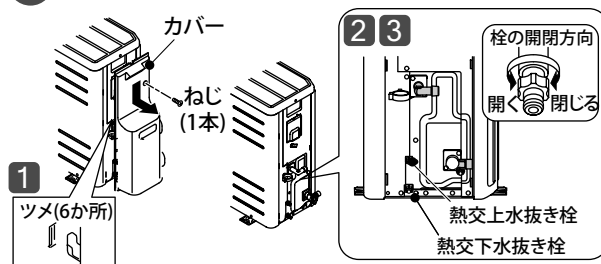
- 2 「給水水抜き栓」、「給湯水抜き栓」、「ヒートポンプ A 側水抜き栓」、「ヒートポンプ B 側水抜き栓」が閉じていることを確認します。
- 3 逃し弁のレバーを上げます。
- 4 タンク専用止水栓を開き、タンクへの給水を行います。
- 5 タンク排水管から水が出ることを確認する。
(連続で水が出てきたら満水です。約30～40分かかります。)
- 6 逃し弁のレバーを下げます。



2 ヒートポンプユニットのエア抜きをする

- 1 ねじを取りはずし、カバーをツメ (6か所) が抜けるまで下方へスライドさせてはずします。
- 2 「熱交下水抜き栓」を開きます。3 分以上開き、勢いよく水が出てくることを確認してください。確認したら閉じます。
- 3 「熱交上水抜き栓」を開きます。3 分以上開き、勢いよく水が出てくることを確認してください。確認したら閉じます。
- 4 カバーを元通り取り付けてください。

2 ヒートポンプユニット

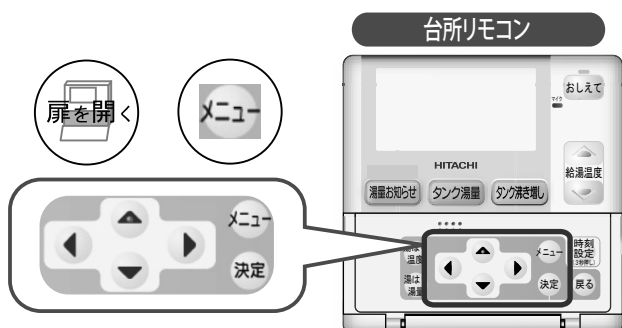


3 電源を入れる

- 1 200V の元電源ブレーカーを「ON」にします。
- 2 貯湯ユニットの電源スイッチを「ON」にします。

お願い

- 必ず、貯湯ユニットを満水にし、ヒートポンプユニットのエア抜きが完了していることを確認してから電源を入れてください。



4 ヒートポンプ配管のエア抜きをする

- 1  で「その他」/「HP エア抜き」を選択し、
 を押す。

●「HP エア抜き」画面になります。

- 2  で「する」を選択し、
 を押す。

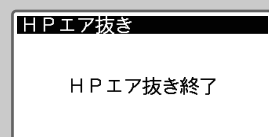
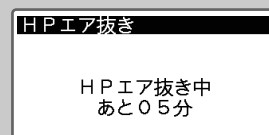
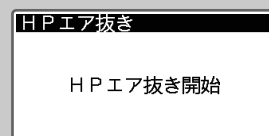
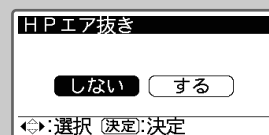
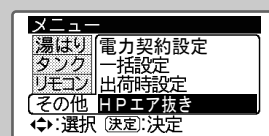
●ヒートポンプ配管のエア抜きを行います。
ヒートポンプ配管のエア抜きは 5 分行います。終了したら自動的に
「HP エア抜き終了」の画面に変わります。

●「HP エア抜き終了」の画面から約 2 秒後自動的に標準画面に戻ります。

ご注意

- 「HP エア抜き」運転では、稀に台所リモコンに点検記号「C-09」が表示されることがあります。台所リモコンの「メニュー」と「戻る」ボタンを同時に押して表示を解除し、もう一度 ④ の作業を行ってください。

点検記号「C-09」が繰り返して表示される場合は、お買い上げの販売店
または「修理コールセンター」にご連絡ください。 → P.50



非常用水として使用するとき

- 万一、災害の時は、貯湯ユニットのお湯を非常用生活用水として利用できます。
- 飲用はできません。やむを得ず飲用する場合は、必ず沸騰させてください。

1 漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にする。

2 タンク専用止水栓を閉じる。

- 貯湯ユニットへの給水を止めます。

3 逃し弁を開く。

- 貯湯ユニットに空気を入れ、取水できるようにします。

4 脚カバーを外す。

※脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、ねじを外し、脚カバーまたは配管カバーを外してください。

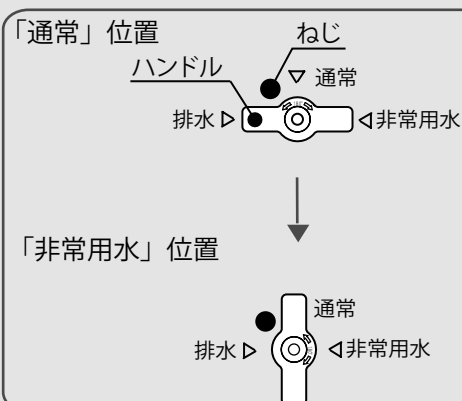
5 取水ホースを取り出す。

- 取水ホースを製品の外に引き出し、バケツなどで受けてください。

6 貯湯ユニット内のお湯（水）を出す。

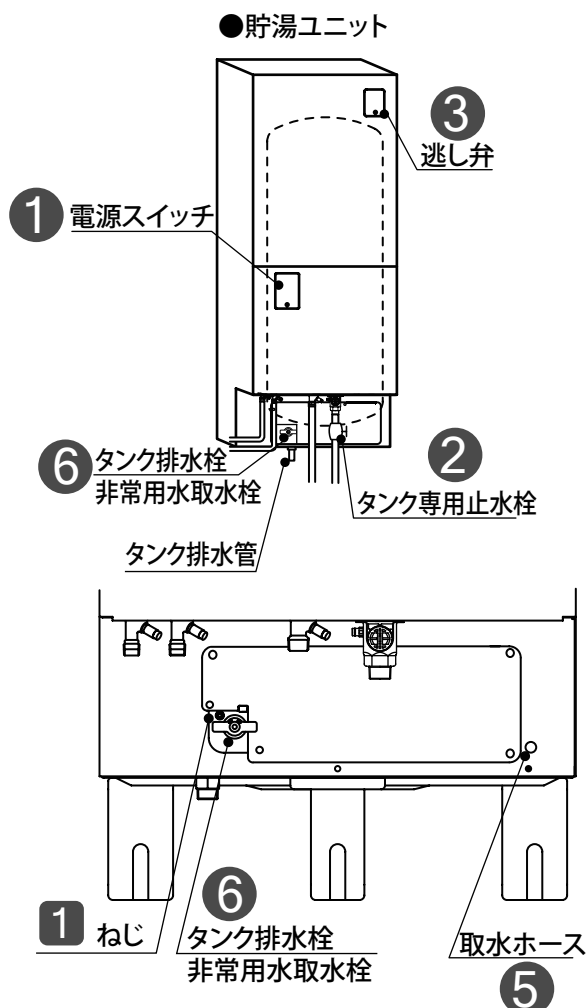
1 ねじを取り外す。

2 ハンドルを右に90°回し「非常用水」位置にするとホースからお湯（水）が出ます。



3 止めるときはハンドルを左に90°回し、ハンドルを「通常」位置に合わせてください。

1 で取り外したねじを取り付けてください。



お願い

- ホースからは、お湯（水）が出てきますが、使いはじめは、湯アカなどが出ますのでしばらく洗い流してください。取水後は、「タンク排水栓」が「通常」位置であることを確認してください。
- ふたたび使用するときは、「貯湯ユニットに給水するとき」(→P.33) にしたがって貯湯ユニットに給水してください。

警告

- ！**取水中、熱湯（最高90℃）が出る場合があります。**
やけど注意
非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用してください。

停電のとき

- 停電復帰時、台所リモコンの時刻がずれている場合がありますので、設定を確認してください。
- 停電中は、「給湯」、「湯量お知らせ」とも使用できません。蛇口からお湯を使用する場合は、タンク内に
お湯が残っていても設定温度にならない場合があります。
- 停電復帰時のリモコンの設定は下記になります。

リモコン	項目	リモコン設定値
	日付	日付がずれている場合があります。 → P.43
	時刻	時刻がずれている場合があります。 → P.44
	その他	停電になっても設定値は記憶されています。

お願い
停電復帰時は、
必ず「リモコン」
の時刻を確認して
ください。

- 時刻が違っている場合は、電気料金が割高になる場合がありますので、「日付 / 時刻設定」で日付と時刻合わせをしてください。

お知らせ
●湯量お知らせ運転中に
停電した場合は、湯は
り終了のお知らせはあ
りません。また、停電
復帰後、湯量お知らせ
運転は継続しますが、
湯はり終了お知らせの
前に、浴そうのお湯が
あふれることがあります
のでご注意ください。

断水のとき

- 断水のときは「タンク専用止水栓」を閉じてください。断水中は貯湯ユニット内に給水されないためお湯
は出ません。
- 断水復帰後、混合水栓（蛇口）の水側を開けて、水の汚れがなくなったのを確認してから、「タンク専用
止水栓」を開いて使用を再開してください。

- ご注意**
- タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯ユニットのストレーナ部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
 - タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、貯湯ユニットに空気が入り断水復帰後、設定温度のお湯が出なかったり、湯温が安定しない場合があります。

お手入れと点検

日常のお手入れ

リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れたときは、水に濡らした布を固く絞って拭いてください。

- 汚れが落ちにくい場合は、台所中性洗剤を薄めて使い、ぬるま湯を含ませた布でふき取ってください。

ご注意 リモコンの掃除は・・・

- 「ふろ用洗剤」「弱アルカリ性の台所洗剤」「ベンジン」「シンナー」などは、リモコンの変形や変色の原因になります。使用しないでください。

月に1度のお手入れと点検

時刻の確認

月に一度は時刻を確認し、正確な時刻に合わせてください。

- リモコンの時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

→ P.44

漏電遮断器の点検

●漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

- 1 テストボタンを押す。
●電源スイッチが「ON」→「OFF」になれば正常です。 → P.15
- 2 電源スイッチを「ON」に戻します。

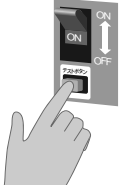
お願い テストボタンを押しても「OFF」にならない場合は、「電源ブレーカー」または、「電源スイッチ」を「OFF」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

**警告**

**漏電遮断器の動作を確認する。**

動作確認

- 故障のまま使用すると感電することがあります。
- 確認後は操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電をすることがあります。



定期点検契約（有料）のおすすめ

- 本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1度、専門技術者による定期点検（有料）を行ってください。
なお、給水器具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。
- 定期点検につきましては、販売店または当社サービスエンジニアリングセンタへご相談ください。
- 点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項目	内容
据付状態の点検	●設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検 ●配管、その他の保温状態の点検 ●電気絶縁の点検
機能部品の点検	●電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ●弁類の点検（減圧弁、逃し弁）
清掃	●貯湯タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ●給水継手のストレーナの清掃

消耗部品について（有料）

消耗部品	
●逃し弁	●減圧弁
●パッキン類	●混合弁
●ゴムホース	●センサー類
●三方弁	●電動弁

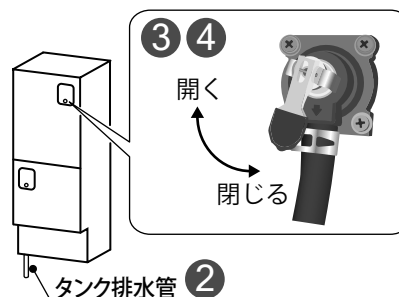
※上記部品の交換時は、当社純正部品と交換してください。

年に2～3度のお手入れと点検

■ 逃し弁の点検

● 逃し弁は、沸き上げ時にタンク内の膨張水を排出し、タンク内が高圧になるのを防ぎます。

- 1 沸き上げ中 (リモコンに「沸き上げ」が表示) でないことを確認する。
- 2 タンク排水管からお湯 (水) が出ていないことを確認する。
- 3 逃し弁のレバーを2～3回上下させ、上げたとき (開) のみ、タンク排水管からお湯 (水) が出ることを確認する。
- 4 逃し弁のレバーを下げて、お湯 (水) が止まることを確認する。
 - お湯 (水) が止まらないときは、レバーを2～3度、上げ下げしてください。



お願い

- 逃し弁の点検は、沸き上げ時に行わないでください。
- 点検後は、必ず逃し弁のレバーを下げて (閉) にしてください。
- レバーを上げたときにタンク排水管から、お湯 (水) が出ない場合や、レバーが下がっているのに、お湯 (水) が出る場合は、弁類の故障が考えられます。漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

- 沸き上げ中に、少量のお湯を排水するのは正常な動作です。



警告

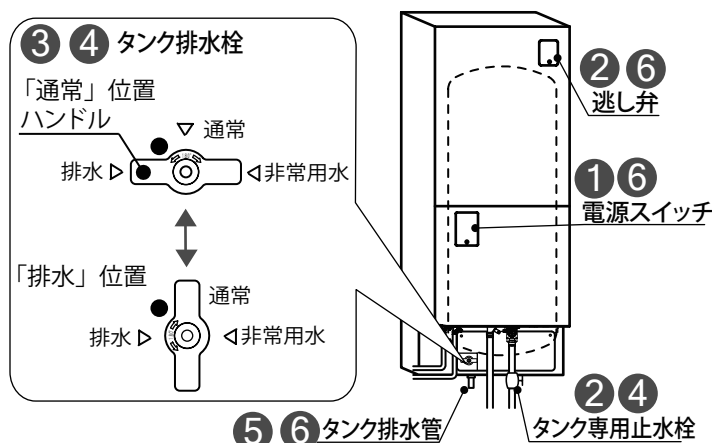


逃し弁点検時は、配管に手を触れない。

- 手を触れるとやけどをすることがあります。

■ 貯湯ユニットのそうじ ● 使用中、タンク底部に湯アカなどの沈でん物がたまります。タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。

- 1 沸き上げ中 (リモコンに「沸き上げ」が表示) でないことを確認し、電源スイッチを「OFF」にする。
- 2 タンク専用止水栓を閉め、逃し弁のレバーを上げる。
- 3 タンク排水栓のハンドルを左に90°回し「排水」位置とし、約2分間排水する。
- 4 タンク排水栓のハンドルを右に90°回し、「通常」位置とし、タンク専用止水栓を開ける。
- 5 タンク排水管から湯が出ないことを確認する。
- 6 貯湯ユニット排水管から湯 (逃し弁からの湯) が出てきたら、逃し弁のレバーを下げ、電源スイッチを「ON」にする。
 - 湯が止まらない場合は、逃し弁のレバーを2～3度、上げ下げしてください。



■ 配管の点検

機器や配管から水漏れがないか、それらの周囲が濡れていないか、配管の保温材が傷んでいないか点検してください。

- 特に集合住宅 (マンション) では、水が漏れると階下に甚大な被害を与えることがあります。ドレンホースから水が出ていないことを確認してください。



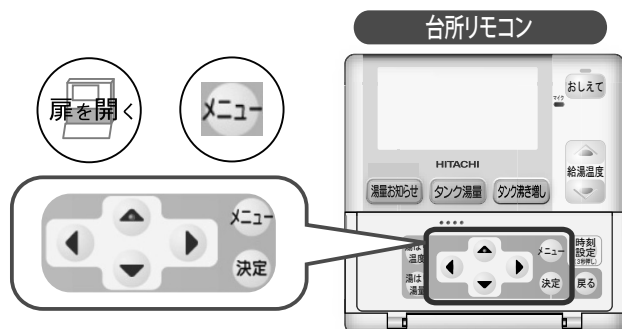
警告



貯湯ユニットの排水時は、お湯に手を触れない。

- 熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

給湯機の設定

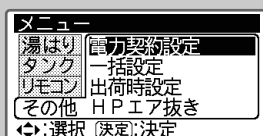


電力契約の設定

- 電力契約が設定済みであるか、販売店または工事店に確認してください。設定がされている場合は、変更する必要はありません。
- 「一括設定」による設定の場合は ② からの操作になります。→ P.21

1 「その他」/「電力契約設定」を選択する。

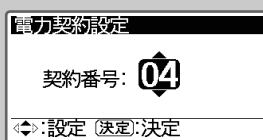
- 「電力契約設定」の画面になります。



2 で契約番号を選択する。

- 下記の図表を参照して、番号を選択します。

決定 を押す。



ご注意

- 電力契約番号の設定が誤っていると電気料金が割高になる場合があります。契約内容をよくお確かめの上設定してください。

お知らせ

- 電力契約番号は、当社独自の番号であり、電力会社が定めるものではありません。

電力契約の番号と時間帯概要 (2009年 11月現在)

※グラフの上の数字は時間を表しています。契約している電力制度の内容は、各電力会社にお問合わせください。

Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は、説明のために付加したもので、各電力会社の定める用語ではありません。

●契約名称と設定する契約番号

電力会社	契約名称	契約番号
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ (深夜時間帯 22時～6時)	07
	ドリーム8、ドリーム8エコ (深夜時間帯 23時～7時)	08
	ドリーム8、ドリーム8エコ (深夜時間帯 24時～8時)	09
東北電力	eタイム3	06
	やりくりナイト8	00
	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06
東京電力	おトクなナイト8	00
	電化上手	02
	おトクなナイト10	06
中部電力	タイムプラン	00
	Eライフプラン	04
	エルフナイト8	00
北陸電力	エルフナイト10 プラス	05
	エルフナイト10	06
関西電力	時間帯別電灯	00
	はぴeタイム	02
	エコノミーナイト	01
中国電力	ファミリータイム	03
	電化DEナイト、得トクナイト	00
九州電力	時間帯別電灯	00
	電化deナイト	05
	よかナイト10	06
沖縄電力	時間帯別電灯	00
	Eeらいふ	02

●契約番号と時間帯名称

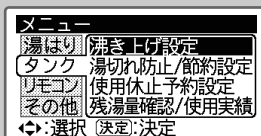
契約番号	時間帯名称
00	深夜時間帯 Aゾーン 7 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 深夜
01	深夜時間帯 Aゾーン 8 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 深夜
02	深夜時間帯 Aゾーン 7 10 17 23 24 朝晩・リビング Bゾーン Cゾーン 朝晩・リビング Bゾーン 深夜
03	深夜時間帯 Aゾーン 8 10 17 23 24 朝晩・リビング Bゾーン Cゾーン 朝晩・リビング Bゾーン 深夜
04	深夜時間帯 Aゾーン 7 9 17 23 24 朝晩・リビング Bゾーン Cゾーン 朝晩・リビング Bゾーン 深夜
05	深夜時間帯 Aゾーン 8 10 17 22 24 朝晩・リビング Bゾーン Cゾーン 朝晩・リビング Bゾーン 深夜
06	深夜時間帯 Aゾーン 8 22 24 昼間時間帯 Bゾーン 深夜
07	深夜時間帯 Aゾーン 6 16 18 22 24 昼間時間帯 Bゾーン ピーク Cゾーン 昼間時間帯 Bゾーン 深夜
08	深夜時間帯 Aゾーン 7 16 18 23 24 昼間時間帯 Bゾーン ピーク Cゾーン 昼間時間帯 Bゾーン 深夜
09	深夜時間帯 Aゾーン 8 16 18 24 昼間時間帯 Bゾーン ピーク Cゾーン 昼間時間帯 Bゾーン

■沸き上げ設定

- 沸き上げる湯量を設定します。使用するお湯の量にあった設定をしてください。
- お買い上げ時は、「おまかせ 低温」に設定されています。
- 使えるお湯の量は、「沸き上げ設定」のほかに「湯切れ防止設定」で変わります。「湯切れ防止設定」も必ずご確認ください。

1 「タンク」/「沸き上げ設定」を選択する。

- 「沸き上げ設定」の画面になります。



お知らせ

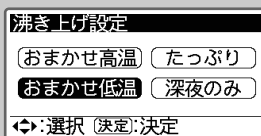
- 「一括設定」による設定の場合は、2 から操作します。➡P.21

2 で湯量を選択する。

- 下記の図表を参照して、番号を選択します。



を押す。



お知らせ

- 既に設定してある湯量を反転表示します。
- 設定は下の「湯量設定のめやす」表を参考に設定してください。

■湯量設定のめやす

湯量 (沸き上げ温度の目安)	ご使用のめやす	運転状態など
おまかせ 低温 (約 65 ～ 90℃)	余分なお湯を沸き上げず省エネ運転をおこないます。 ● お湯の使用量が少ない場合 ※頻繁に湯が足りなくなる場合は、「おまかせ 高温」に変更してください。	過去 1 週間の平均使用量に応じた湯量を主に深夜時間帯で沸き上げます。 お湯の使用量が多い場合は、電力契約のBゾーン時間帯(➡P.39)にも沸き上げます。
おまかせ 高温 (約 70 ～ 90℃)	お湯の使用量に応じて沸かす湯量を自動的にコントロールします。湯切れしにくいモードです。 ● お湯の使用量がわからない場合 ● 家族が多い場合やお湯を多く使用する場合	過去 1 週間の最大使用量に応じた湯量を主に深夜時間帯で沸き上げます。 お湯の使用量が多い場合は、電力契約のBゾーン時間帯(➡P.39)にも沸き上げます。
たっぶり (約 90℃)	お湯をもっとも多く沸かすモードです。 ● 来客時や冬季などお湯をたくさん使用する場合	貯湯ユニット内のお湯を約 75L 使用すると、電力契約 B ゾーン時間帯(➡P.39)にも沸き上げをおこない、貯湯ユニットを満タンにします。 1 週間で「おまかせ 高温」に切り替わります。
深夜のみ (約 90℃)	深夜時間帯のみでお湯を沸かします。 ● 夜だけお湯を沸かしたい場合 ※お湯が足りないときは、「タンク沸き増し」を押してお湯の量を増やしてください。	昼間は沸き上げをおこないません。 (湯切れ防止設定時は、昼間に沸き上げる場合があります。)

お知らせ

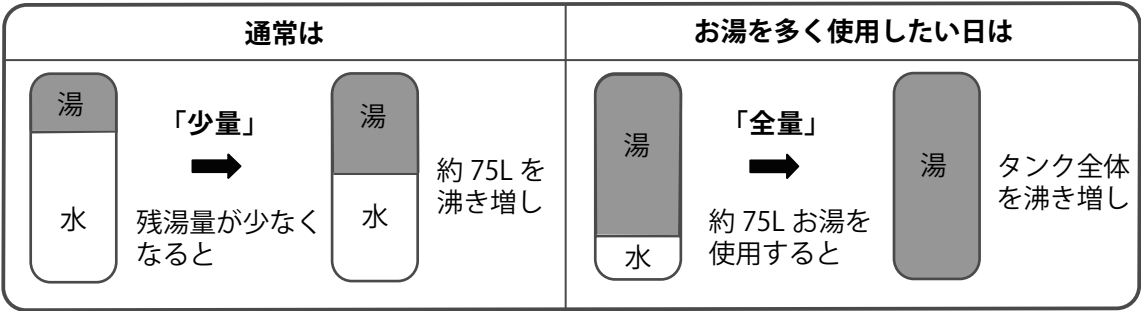
- 沸き上げ温度はヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度です。ヒートポンプユニットから貯湯ユニットまでの配管の長さ、配管の保温状態、外気温度などによりタンクにたまるお湯の温度は沸き上げ温度より低くなります。
- 沸き上げ設定が「おまかせ 低温」「おまかせ 高温」の場合、お客様のご使用状態によっては、沸き上げ温度が低くなり、満タンに沸き上げない場合がありますが異常ではありません(➡P.14)。なお、頻繁に湯切れする場合は、沸き上げ設定を変更してください。
- 「おまかせ 低温」「おまかせ 高温」「たっぶり」は、Bゾーン時間帯に沸き上げることがあるので、電気料金が割高になる場合があります。

給湯機の設定（続き）

■湯切れ防止 / 節約設定

■湯切れ防止とは

設定しておく、毎日、電力契約のいずれの時間帯でも、タンク内のお湯が減るたびに自動で沸き増しをおこない、湯切れするのを防ぎます。昼間にも沸き上げするため、電気料金が割高になる場合があります。「湯切れ防止」で沸き増すお湯の量には、「少量」と「全量」があります。



■節約設定とは

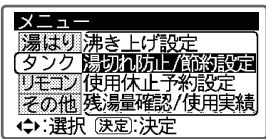
電気料金を節約するための設定です。湯切れが発生しても、深夜時間帯直前の場合は、電気料金を節約するためにタンクの沸き上げを深夜時間帯になるまで保留する機能です。深夜時間帯 0～3 時間前が設定できます。下の表を参考にして、お湯を使う最終の時間帯によって設定してください。

※深夜時間帯が 23 時から始まる電力契約を例にしたためやすです。

表示	タンク沸き上げの動作	設定のめやす
深夜時間帯までの 0 時間は沸き上げしない	深夜時間帯直前でも作動します。	23 時までお湯を使う場合
深夜時間帯までの 1 時間は沸き上げしない	深夜時間帯 1 時間前から作動しません	22 時以降はお湯を使わない場合
深夜時間帯までの 2 時間は沸き上げしない	深夜時間帯 2 時間前から作動しません	21 時以降はお湯を使わない場合
深夜時間帯までの 3 時間は沸き上げしない	深夜時間帯 3 時間前から作動しません	20 時以降はお湯を使わない場合

1 「タンク」/「湯切れ防止/節約設定」を選択する。

●「湯切れ防止設定」の画面になります。



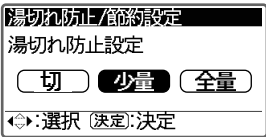
お知らせ

- 「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。➡P.21

2 ◀ ▶ で湯量を選択する。

決定 を押す。

●「節約設定」の画面になります。

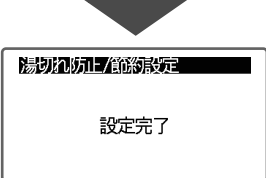
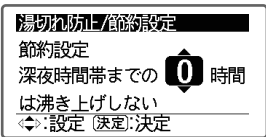


- 既に設定してある内容を反転表示します。
- 「切」に設定すると昼間の沸き上げは行いませんが、湯切れする可能性があります。

3 ▲ ▼ で沸き上げしない時間を選択する。

決定 を押す。

●「標準画面」に戻ります。



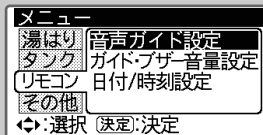
- 時間を設定するとその時間帯の沸き上げは行いけません。
- 「湯切れ防止設定」が「切」に設定されている場合は、0 時間（深夜時間帯直前でも作動）に設定しても、「湯切れ防止」機能は働きません。

■音声ガイド設定

- 台所リモコンには、操作方法や設定内容をアナウンスする音声ガイド機能がついています。
- 音声ガイドのモードを設定します。

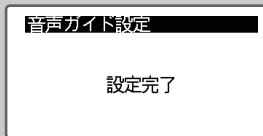
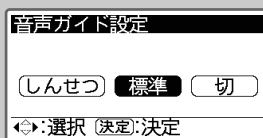
1 「リモコン」/「音声ガイド設定」を選択し
決定 を押す。

- 「音声ガイド設定」の画面になります。



2 で音声ガイドを選択し
決定 を押す。

- 「標準画面」に戻ります。



お知らせ

- 「一括設定」による設定の場合は **2** から操作します。

お知らせ

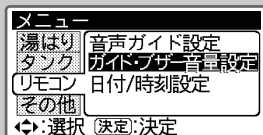
- 「しんせつ」に設定すると、操作方法や機能動作に関する内容、設定内容をアナウンスします。
- 「標準」に設定すると、動作中の機能が停止した場合や安全に関わることなどをアナウンスします。

■ガイド・ブザー音量設定

- 機能の終了をお知らせするブザー音や、操作説明などの音声ガイド、「おしえて」ボタンの音声ガイドの音量が変更できます。

1 「リモコン」/「ガイド・ブザー音量設定」を選択し、**決定** を押す。

- 「ガイド・ブザー音量設定」の画面になります。

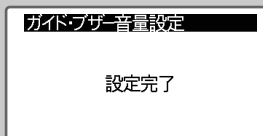


2 で音量を選択し
決定 を押す。

- 「標準画面」に戻ります。



音声 < 音量 大(標準・小)です。
音を消します。



お知らせ

- 「一括設定」による設定の場合は **2** から操作します。

- 「音量」を変更する毎に、対応する音量でアナウンスされます。
- 同じ音量でも深夜など雑音の少ない環境では大きく聞こえたり、雑音の多い昼間は聞き取りにくかったりすることがあります。

給湯機の設定(続き)

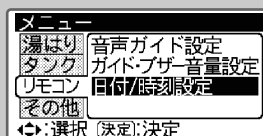
■日付 / 時刻の設定

- お使いはじめには、必ず日付・時刻を設定してください。
- 時刻はひと月に一度は確認し、正しく合わせてください。
- 現在時刻が合っていないと、深夜時間帯前に沸き上げを行ってしまうなど、電気料金が割高になってしまうことがあります。

1 「リモコン」/「日付/時刻設定」を選択し

を押す。

- 「日付設定」の画面になります。



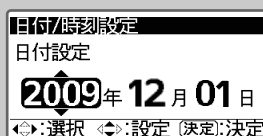
お知らせ

- 「一括設定」による設定の場合は
2 から操作します。

2 で年・月・日を選択し 変更します。

を押す。

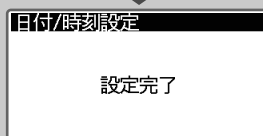
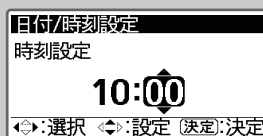
- 「時刻設定」の画面になります。



3 で時・分を選択し 変更します。

を押す。

- 「設定完了」の画面になります。
- 「標準画面」に戻ります。



お知らせ

- 時刻は24時間表示です。
昼の12時は「12:00」
夜の12時は「00:00」
を表示します。

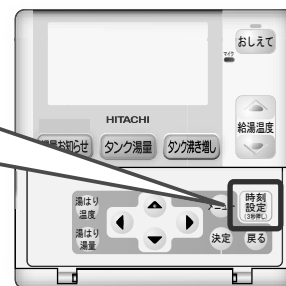
■時刻設定（ダイレクトボタンから操作）

- 台所リモコンには「時刻設定」ボタンがあり、時刻の設定ができます。
- 時刻のずれを修正する場合など、日付の設定が不要な場合は、メニュー操作をしなくても時・分の設定が行えます。



時刻
設定
(3秒押し)

台所リモコン



■時・分の設定

1 **時刻設定** (3秒押し) を画面が変わるまで押しつづける。

- 日付設定の画面になります。

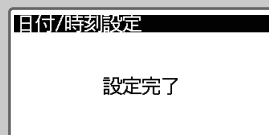
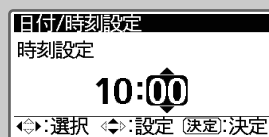


で時・分を選択し
変更する。



を押す。

- 設定完了の画面になり、「標準画面」に戻ります。



お知らせ

- メニュー一覧の「日付 / 時刻設定」で行う日付設定と同じ機能、同じ操作方法で設定できます。

■正時設定（0分調整）

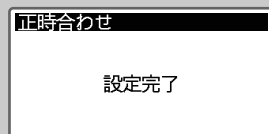
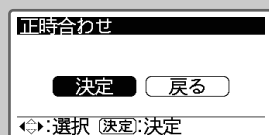
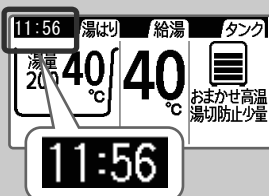
- 電話などの時報に合わせて0分調整をします。
- リモコンの時計が毎時55～05分の間にボタンを押すと00分にセットできます。

1 **時刻設定** (3秒押し) を押す。

- 「正時合わせ」設定画面が表示されます。

2 時報に合わせて **決定** を押す。

- 「設定完了」画面が表示されます。
- リモコンの時計が「00分」にセットされます。



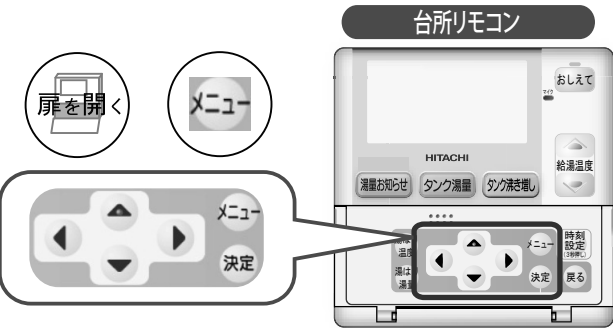
お知らせ

- 正時（しょうじ）とは、「7時ちょうど（7:00）」や「12時ちょうど（12:00）」のように、「毎時0分」をいいます。
- 毎時6分～54分の間に設定が必要な場合は、「時・分の設定」にしたがって設定してください。

給湯機の設定(続き)

■出荷時設定

- 各設定を製品出荷時の設定に戻します。
- 出荷時設定を行った後は、必ず一括設定を行ってください。→P.21
- その他の設定（給湯温度・湯量お知らせなど）は給湯機をお使いになりながら適切な設定を行ってください。



1



で「その他」/「出荷時設定」を選択し

を押す。

●「出荷時設定」の画面になります。

2

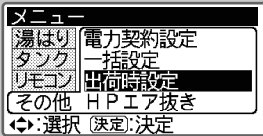


で「はい」を選択し

を押す。

●「設定完了」画面になります。

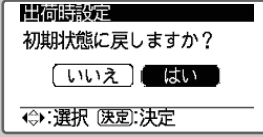
●自動で「再起動します。しばらくお待ちください」→画面が OFF→「起動中です。しばらくお待ちください」と画面が変わり、「標準画面」に戻ります。



メニュー

- 湯はり 電力契約設定
- タンク 一括設定
- リモコン 出荷時設定
- その他 H P エア抜き

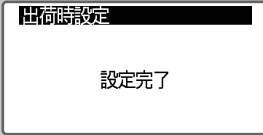
⇄:選択 (決定):決定



出荷時設定

初期状態に戻しますか？

⇄:選択 (決定):決定



設定完了

●「いいえ」を選択すると現在の設定を継続します。

■設定項目一覧

設定項目	出荷時設定	頁
給湯温度	4 0℃	→P.23
湯はり温度	低温	→P.24
湯はり湯量	2 0 0 L	→P.24
沸き上げ	おまかせ 低温	→P.40
湯切れ防止	少量	→P.41
電力契約	「0 4」	→P.39
節約設定	0 時間	→P.41
使用休止予約	なし	→P.31

設定項目	出荷時設定	頁
使用休止予約の休止日	なし(解除)	→P.31
使用休止予約の再開日	なし(解除)	→P.31
音声ガイド(台所リモコン)	しんせつ	→P.42
ガイド・ブザー音量(台所リモコン)	レベル 2	→P.42
コントラスト(台所リモコン)	レベル 7	→P.12

こんなときは故障ではありません

■タンク排水管からお湯が出ている

- 沸き上げ中（リモコンに「沸き増し」を表示しているとき）は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。正常な動作です。
ただし、沸き上げ中でないときに、お湯や水が出る場合は弁類の故障が考えられますので点検してください。

■ヒートポンプユニットのドレンから水が出る

- ヒートポンプ運転中（沸き上げ中）は、大気から熱を吸収するときにフィンに結露した水を排水します。
沸き上げを終了すると、水は出なくなります

■夜間時間帯になっても、沸き上げを行わない（ヒートポンプユニットが動かない）

- 給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。
深夜時間帯が終了する時刻に合わせて沸き上げを完了させます。（ピークシフト機能）

■昼間時間帯に沸き上げを行う

- 沸き上げ設定が「おまかせ 低温」「おまかせ 高温」「たっぷり」の場合、昼間時間帯に沸き上げを行うことがあります。
→ P.40
残湯量表示が全て点灯している場合でも、「湯切れ防止」を設定していると「沸き増し」を開始する場合があります。
- 沸き上げ設定にかかわらず外気温度が低い時は、凍結防止のため昼間時間帯でも沸き上げを行うことがあります。

お湯を使っているとき

■お湯から油が出る、お湯が臭い

- お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

■お湯が白く濁って見える

- 水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

■設定温度のお湯が出ない

- 混合水栓から出るお湯は、配管材の放熱によって低くなることがあります。
- タンクのお湯の温度が、設定した給湯温度より低い場合、設定温度のお湯は出ません。湯切れ防止を設定してください。
→ P.21 → P.41

お風呂が・・・

■浴そうのお湯が青く見える

- 光の波長や浴そうの色によって、浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。

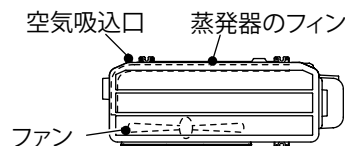
寒くなると

■ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す

- 気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。

■沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる

- 冬季運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。



お困りのときは

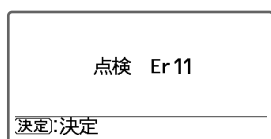
修理を依頼される前に、調べてみましょう。

こんなときには	原因	処置
リモコンの表示部が消えている (電源が入らない)	●200V 電源ブレーカーが「OFF」になっている	●電源ブレーカーを「ON」にしてください。→ P.16
	●漏電遮断器の電源スイッチが「OFF」になっている	●電源スイッチを「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、「OFF」のままお買い上げの販売店へご連絡ください。→ P.15
	●停電している	●停電が終わるまで待ってください。
お湯が出ない お湯の出が悪い	●タンク専用止水栓が閉じている	●タンク専用止水栓を開いてください。→ P.16
	●断水している／給水圧が低い	●断水が終わるのを待ってください。
	●配管が凍結している	●お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。
	●ストレーナにごみがつまっている	●お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。
	●「湯量お知らせ」運転のオートストップ機能がはたらいている。 (BHP-ZA37GU, ZA46GU)	●お湯を供給する全ての混合水栓(蛇口)を閉じて、「湯量お知らせ」ボタンを押してください。→ P.25
お湯がぬるい お湯が足りない (残湯量の表示が消えている)	●使用休止予約設定になっている。(リモコンに「使用休止中」の表示がある)	●使用休止予約設定を解除してください。→ P.31 ●沸き増しをしてください。→ P.29
	●タンク設定が、「おまかせ 低温」である	●沸き上げ設定を「おまかせ 高温」、「深夜のみ」または「たっぷり」にしてください。→ P.40
	●深夜時間帯(夜間沸き上げ運転中)にお湯をたくさん使用した	●沸き増しをしてください。→ P.29 ●深夜時間帯(夜間沸き上げ運転中)に湯はりなど大量のお湯を使うと、翌朝、十分に沸き上がらないことがあります。「湯切れ防止」を設定してください。→ P.41
	●いつもに比べてお湯をたくさん使用した	●沸き増しをしてください。→ P.29 ●お湯をたくさん使う予定があるときは、前日に沸き上げ設定を変更するか、「湯切れ防止」の設定をしてください。→ P.41
リモコンを操作しても操作音が出ない	●音量設定が「切」になっている。	●「切」以外の音量を設定してください。→ P.42

こんなときには	原因	処置
湯はりができない （「湯量お知らせ」を受け付けない） 湯はりが途中で止まる （「湯量お知らせ」を中止する）	●貯湯タンクのお湯の温度が低い。 （残湯量の表示は出ている） ●貯湯タンクの残湯量が少ない。 （残湯量の表示が消えている）	●沸き増しをしてください。残湯量は約 45℃以上のお湯の量を表示します。残湯温度が、湯はり温度より約5℃以上高くないと、「湯はりができない」「途中で止まる」ことがあります。 → P.14 → P.29
音声ガイドが出ない	●音声ガイドが「切」の設定になっている。 ●音量設定が「切」になっている。	●音声ガイドを「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。 → P.42 ●「切」以外の音量を設定してください。 → P.42
タンク排水管から水が出ている	●沸き上げ中に膨張水の排出を行っている。 ●逃し弁など弁類の故障です。	●沸き上げ中は、タンク内の水の膨張水を排出します。通常一晩で 10L ～ 20L 排出するのが正常です。 ●逃し弁の点検を行ってください。 → P.38 ●タンク排水栓のハンドル位置を「通常」位置にしてください。 → P.38

リモコンに点検表示がでたら

- 点検が必要な状況になった場合、各リモコンに点検記号が表示されバックライトが点滅します。



- 表示された場合、各リモコンの「決定」キーを押してください。左図の点検表示画面から通常画面に戻ります。なお、時刻表示部に点検表示が残りバックライトが点滅します。



- 表示される点検記号によって以下の処置を行ってください。

- 下記の点検記号が表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。

表示	処置	表示	処置
E r 01 ～ 78	●貯湯ユニット関係の点検が必要です。	H E 17、20、21	●ヒートポンプ配管の点検が必要です。
H E 01 ～ 16、19	●ヒートポンプユニット関係の点検が必要です。	C - 09	●台所リモコンの「メニュー」と「戻る」ボタンを同時に5秒以上押し、表示を解除してください。※
H E 22 ～ 44			

※ H E - 17、H E - 20、H E - 21、C - 09 が再度、表示される場合は、ヒートポンプ配管の点検が必要です。お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。 → P.50

仕様

■システム

	仕様			
型式	BHP-ZA46GU	BHP-ZA37GU	BHP-Z46GU	BHP-Z37GU
仕向地（設置地域）	一般地（Ⅲ地域以南、外気温 -10℃まで対応）			
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型、時間帯別電灯型（通電制御対応）			
設置場所	屋外型			
電源	単相 200V（50／60Hz）			
最大電流	18 A	17 A	18 A	17 A
沸き上げ温度	約 65 ～ 90℃			
年間給湯効率（APF）※6	3.3			

■貯湯ユニット

	仕様			
型式	BHP-TAZA462	BHP-TAZA372	BHP-TAZ462	BHP-TAZ372
タンク容量	460 L	370 L	460 L	370 L
最高使用圧力（給湯側）	190kPa			
外形寸法	2,165mm（高） 625mm（幅） 730mm（奥行）	1,835mm（高） 625mm（幅） 730mm（奥行）	2,165mm（高） 625mm（幅） 730mm（奥行）	1,835mm（高） 625mm（幅） 730mm（奥行）
質量（製品質量 / 満水時質量）	65kg / 約 525kg	57kg / 約 427kg	65kg / 約 525kg	57kg / 約 427kg
消費電力	7W			
制御用				

■ヒートポンプユニット

	仕様			
型式	BHP-HA602	BHP-HA452	BHP-HA602	BHP-HA452
外形寸法	720mm（高）×792mm（幅）×299mm（奥行）			
質量	57kg	56kg	57kg	56kg
中間期加熱能力 / 消費電力 ※2 ※3	6.0 kW / 1.29 kW	4.5 kW / 0.96 kW	6.0 kW / 1.29 kW	4.5 kW / 0.96 kW
冬期高温加熱能力 / 消費電力 ※1 ※2 ※5	6.0 kW / 2.0 kW	4.5 kW / 1.5 kW	6.0 kW / 2.0 kW	4.5 kW / 1.5 kW
夏期加熱能力 / 消費電力 ※2 ※4	4.5 kW / 0.83 kW	4.5 kW / 0.83 kW	4.5 kW / 0.83 kW	4.5 kW / 0.83 kW
運転音（中間期※3/ 冬期高温※5）	40dB（A）/ 43dB（A）	38dB（A）/ 43dB（A）	40dB（A）/ 43dB（A）	38dB（A）/ 43dB（A）
冷媒名	R 744（CO ₂ ）			

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※2 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※3 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温 17℃、沸き上げ温度 65℃

※4 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）25℃／21℃、水温 24℃、沸き上げ温度 65℃

※5 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温 9℃、沸き上げ温度 90℃

※6 （社）日本冷凍空調工業会の規格である JRA4050:2007R に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。
なお、（掲載）値は、省エネモードである「おまかせ 低温」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定や、ご使用条件等により変わります。

愛情点検

長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！



ご使用の際、
こんな症状は
ありませんか？

- 運転中以外逃し弁から水が漏れる。
- 漏電遮断器が自動的に「OFF」になる。
- 本体や配管から水が漏れる。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
中止

- 故障や事故防止のため、「電源ブレーカ」を切り、「タンク専用止水栓」を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス

■保証書（添付）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書、明細書なども保証書と一緒に保管してください。）
- 保証期間は、お買い上げいただいた日からヒートポンプユニットの熱交換器とコンプレッサーは3年、タンクは5年、その他の部分は1年です。

■補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。
※補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

■定期点検契約（有料）のおすすめ

- 本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1度、専門技術者による定期点検（有料）を行ってください。なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。
- 定期点検につきましては、販売店または当社サービスエンジニアリングセンターへご相談ください。
- 点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項目	内容
据付状態の点検	●設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検 ●配管、その他の保温状態の点検 ●電気絶縁の点検
機能部品の点検	●電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ●弁類の点検（減圧弁、逃し弁）
清掃	●貯湯タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ●給水継手のストレーナの清掃

消耗部品について（有料）

消耗部品			
●逃し弁	●減圧弁	●混合弁	●センサー類
●パッキン類	●ゴムホース	●三方弁	●電動弁

※上記部品の交換時は、当社純正部品と交換してください。

■不明点や修理に関するご相談は

- お買い上げ販売店または、右記の「修理コールセンター」にご連絡ください。

■修理を依頼されるときは

- 販売店または「修理コールセンター」へ下記を連絡ください。
 1. 型式（保証書に記載）
 2. 故障の状況
 3. お名前、ご住所（付近の目印なども）、電話番号
 4. 販売店名

修理料金
保証期間中：保証書の規定に従って修理させていただきます。
保証期間がすぎている場合：修理によって使用できない場合は、お客様のご希望により有料修理いたします

■修理コールセンター

（0120）649-020（携帯電話からも可）
受付時間／365日・24時間受付

■技術相談センター

（0120）578-011（携帯電話からも可）
受付時間／9：00～17：00（土日祭日を除く）

■サービスエンジニアリングセンター

- 受付時間／9：00～17：00（日祭日を除く）
- 北海道（011）717-5146**
〒060-0809
札幌市北区北9条西3-10-1（小田ビル8階）
- 東北（022）225-5972**
〒980-0065
仙台市青葉区土樋1-1-11
- 東京（03）3649-3811**
〒135-0016
東京都江東区東陽5-29-17（住友不動産東陽ビル）
- 北陸（076）429-6861**
〒939-8214
富山市黒崎627-3
- 中部（0568）72-0131**
〒485-0072
小牧市元町4-66
- 関西（06）6303-6159**
〒532-0022
大阪市淀川区野中南2-11-27
- 中国（082）283-9374**
〒735-0029
広島県安芸郡府中町茂陰1-9-20
- 四国（087）833-8701**
〒760-0072
高松市花園町1-1-5（花園ビル）
- 九州（092）561-4854**
〒815-0031
福岡市南区清水4-9-17
- ※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

日立アプライアンス株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号（ニューピア竹芝サウスタワー）

ご購入年月日	年 月 日
販売店	
電話番号	

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

用語集

普段聞きなれない用語や
混同しやすい用語を
説明します。



沸き上げ

(わきあげ)

貯湯タンクにお湯を貯めるために自動で沸き上げることです。→ P.40

タンク沸き増し

(たんくわきまし)

少なくなった貯湯タンク内のお湯の量を増やすために、手動で沸き上げることです。→ P.29

湯切れ防止

(ゆぎれぼうし)

少なくなった貯湯タンク内のお湯の量を増やすために、昼間の時間帯に自動で沸き上げる機能のことです。→ P.41

湯量お知らせ

(ゆりょうおしらせ)

設定した「湯はり温度」のお湯を設定した「湯量」を給湯すると、音声と画面表示でお知らせする機能です。→ P.25

電力契約番号

(でんりょくけいやくばんごう)

各電力会社の契約制度に対応した弊社独自の番号です。(電力会社の定める番号ではありません) → P.39

オートストップ

(おーとすとっぷ)

「湯量お知らせ」の運転の終わりに、自動で給湯を停止する機能です。お風呂のお湯はりに便利です。→ P.25

湯はり湯量設定

(ゆはりゆりょうせってい)

「湯量お知らせ」で給湯する湯量で、40L ~ 540Lの範囲から 10L 刻みで自由に設定することができます。→ P.24

2 温度設定

(におんどせってい)

通常の給湯に使う温度と「湯量お知らせ」の給湯温度を、「湯量お知らせ」ボタンで切り替えることができます。→ P.24

タンク専用止水栓

(たんくせんようしすいせん)

水道から貯湯タンクに水を給水する配管の途中にある栓です。貯湯タンクへの給水を止める時(排水前など)に閉じます。→ P.16

タンク排水栓

(たんくはいすいせん)

タンク内の水を排水するための栓で、排水栓を開くと、タンク排水管から水や湯が排水されます。→ P.15

タンク排水管

(たんくはいすいかん)

貯湯タンク内にある水や湯が排水される出口です。熱い湯が出る場合がありますので注意が必要です。→ P.16

湯はり温度設定

(ゆはりおんどせってい)

通常の給湯とは別に、「湯量お知らせ」の運転時にのみ使用する給湯温度を設定することができます。→ P.24

混合水栓

(こんごうすいせん)

湯水混合水栓ともいいます。水とお湯が混合され蛇口から出ます。シングルレバー、ツーハンドル、サーモスタット付と種類があります。混合水栓の特徴を理解し正しくお使いください。→ P.19

残湯量

(ざんとうりょう)

貯湯タンクに残っている約 45℃ ~ 約 90℃のお湯の量で、リモコンの標準画面にマークで表示しています。使えるお湯の量とは異なります。→ P.14

給湯温度

(きゅうとうおんど)

混合水栓に供給されるお湯の温度です。湯はり温度とは区別しています。混合水栓の蛇口から出るお湯の温度は、季節や配管の長さ、混合水栓の種類によって変わります。→ P.23

使えるお湯の量

給湯や湯はりで使えるお湯の量で、タンク内の残湯量から 42℃ で使えるお湯のめやす量を計算します。台所リモコンの「タンク湯量」ボタンで表示できます。貯湯タンクの高温の湯と水道の水とを混合して 42℃ にしますので、一般に残湯量より多く表示されます。→ P.27